

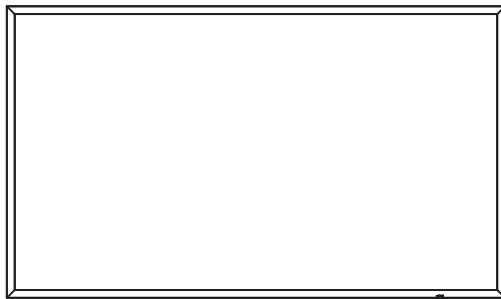
取扱説明書

UHD 液晶ディスプレイ

業務用

品番 **TH-98LQ70J** (98V 型)

TH-84LQ70J (84V 型)



このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、
まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- **ご使用前に「安全上のご注意」(3～7ページ)を必ずお読みください。**
- 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、
取扱説明書とともに大切に保管してください。
- この取扱説明書は、TH-84LQ70J (84V 型)、TH-98LQ70J (98V 型) 共用です。
- 製造番号は安全確保上重要なものです。
お買い上げの際は、製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。

4K
PROFESSIONAL
*実解像度: 3840 x 2160 画素

HDMI

保証書別添付

TQBH0353-1

もくじ

お使いになる前に

- この取扱説明書のイラスト、画面などはイメージであり、実際とは異なる場合があります。
- この取扱説明書の説明イラストは、主に TH-84LQ70J を元に作成しています。

安全上のご注意	3	画質の調整	34
使用上のお願い	8	メモリー機能を使う	36
付属品の確認	10	メモリーに保存する	37
付属品	10	メモリーを呼び出す	37
リモコンの電池の入れかた	10	メモリーを編集する	38
設置金具取り付け時の注意 (98V 型用)	11	初期設定	39
アイボルトについて	11	4 入力マルチ画面設定	39
縦置き設置について	11	信号モード	39
別売オプション	12	スクリーンセーバー	41
接続	13	ECO モード設定	43
電源コードの接続と固定	13	入力表示書換設定	44
接続ケーブルの固定	13	ファンクション設定	45
映像機器の接続	14	タイマー設定	46
HDMI 1 ~ 4 端子の接続例	15	現在時刻設定	47
DVI-D IN 端子の接続例	16	HDMI 4K インターフェイス	47
PC IN 端子の接続例	17	ディスプレイ設置	47
DisplayPort 端子の接続例	18	高地モード	47
SERIAL (シリアル) 端子の接続例 (パソコンで制御する場合)	18	無操作自動オフ	48
DIGITAL LINK 端子の接続例	20	メニュー表示時間 / OSD 輝度 / OSD 位置	48
AUDIO OUT 端子の接続例	20	表示言語切換	48
各部の基本説明	21	ネットワーク設定	48
ディスプレイ本体	21	オプション (Options) メニュー	52
リモコン	22	ネットワーク機能を使う	59
基本の操作	23	接続に必要なパソコン環境	59
入力信号を切り換える	25	ネットワーク接続例	59
入力信号・画面モードなどを知りたいとき	25	コマンドコントロール	61
音量を調整する	26	PJLink プロトコル	61
消音を使う	26	予兆監視ソフトウェアについて	63
オフタイマー (OFF TIMER) を使う	26	LAN で接続する	63
映像に合わせた拡大画面にする (ASPECT)	27	パソコンの操作	63
4 入力マルチ画面表示	28	WEB ブラウザコントロールを使う	64
4 画面で表示する	28	WEB ブラウザコントロールを使う前に	64
4 画面から 1 画面にする	28	WEB ブラウザからのアクセス	65
4 画面の入力を切り換える	29	WEB ブラウザで操作する	65
オンスクリーンメニューについて	30	ID リモコン機能を使う	67
位置調整	31	リモコンの ID 番号を設定する	67
自動位置補正	31	リモコンの ID 番号の設定を解除する (ID [0])	67
音声の調整	33	文字入力について	68
		Weekly command timer のコマンド	69
		プリセット信号	71
		工場出荷時の設定に戻すには	72
		修理を依頼される前に	73
		保証とアフターサービス	75
		仕様	76
		ソフトウェアライセンス	77
		商標について	78

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。



気をつけていただく内容です。



警告

異常・故障時は直ちに使用を中止してください

■ 異常があったときは電源プラグを抜いてください

- 煙が出たり、異常な臭いや音がある
- 映像や音声が出ないことがある
- 内部に水などの液体や異物が入った
- 本機に変形や破損した部分がある



電源プラグ
を抜く



そのまま使用すると火災・感電の原因になります。

- すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店に修理をご依頼ください。
- お客様による修理は危険ですから、おやめください。
- 電源プラグはすぐに抜けるように容易に手が届く位置のコンセントをご使用ください。

■ 異物を入れないでください

通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。



火災・感電の原因となります。

- 特にお子様にはご注意ください。



警告

電源コードについて

- 電源コードは本機に付属のもの以外は使用しないでください



付属以外の電源コードを使用すると、ショートや発熱により、感電・火災の原因になることがあります。

- 付属の電源コードを他の機器に使用しないでください



火災や感電の原因になることがあります。

- 電源プラグにほこりがたまらないよう、定期的に掃除をしてください



湿気などで絶縁不良になり火災・感電の原因となります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください



ぬれ手
禁止



感電の原因となります。

- コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流 100 V 以外では使用しないでください



たこ足配線などで、定格を超えると、発熱により火災の原因となります。

- 電源プラグは根元まで確実に差し込んでください

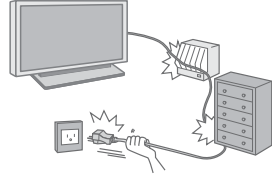


差し込みが不完全ですと感電や、発熱による火災の原因となります。

- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

- 電源コードや電源プラグを破損するようなことはしないでください

(傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重いものを載せる、束ねる など)



ショート、断線により火災・感電の原因となります。

- 電源コードやプラグの修理は、販売店にご依頼ください。

- 本機は、必ず、電源プラグを保護接地があるコンセントに接続してください

- アースは確実に行ってください



感電の原因となります。本機の電源プラグはアース付き 3 芯プラグです。機器の安全確保のため、アースは確実に行ってご使用ください。

- アース工事は専門業者にご依頼ください。



警告

■ 壁掛け、天吊りまたはスタンド設置は、工事専門業者にご依頼ください



工事が不完全ですと、死亡、けがの原因となります。

- 指定の別売据置きスタンドや壁掛け金具をご使用ください。
- ご使用を終了した製品は、工事専門業者にご依頼のうえ速やかに撤去してください。

■ 付属の単 4 乾電池は乳幼児の手の届くところに置かないでください



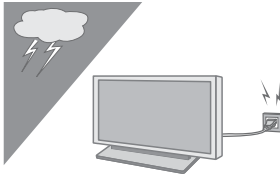
誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。

- 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

■ 雷が鳴りだしたら本機には触れないでください



接触禁止



感電の原因となります。

■ 上に水などの液体の入った容器を置かないでください

(花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの液体が入った容器)



水ぬれ禁止



水などの液体がこぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

■ めらしたりしないでください



水ぬれ禁止



火災・感電の原因となります。

■ 風呂場、シャワー室などでは使用しないでください



水ぬれ禁止



火災・感電の原因となります。

■ 不安定な場所に置かないでください



ぐらついた台の上や傾いた所など、倒れたり、落ちたりして、けがの原因となります。

■ 振動が少なく、本機の質量に耐えられる場所に設置してください



倒れたり、落ちたりして、けがや故障の原因となります。

■ 裏ぶた、キャビネット、カバーを外したり、改造したりしないでください



分解禁止



感電のおそれあり

サービスマン以外の方は、裏ぶたをあげないでください。内部には高電圧部分が数多くあり、万一さわると危険です。

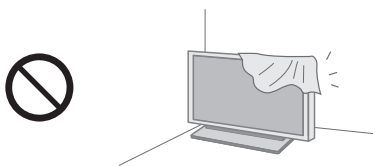
「本体に表示した事項」

内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。

- 内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

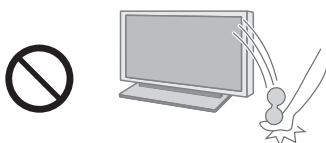
⚠ 注意

- 本機の通風孔をふさがないでください
- 風通しの悪い狭い所に押し込まないでください
- あお向けや逆さまにしないでください



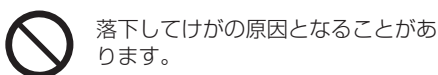
内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。(☞ 8 ページ)

- 上に物を置かないでください



倒れたり、落下したりして、けがの原因となることがあります。

- 本機に脚立を立てかけるなどしないでください



落下してけがの原因となることがあります。

- 本機や据置きスタンドに乗ったり、ぶらさがったりしないでください



倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。

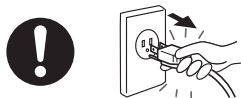
- 特に、小さなお子様にはご注意ください。

- 湿気やほこりの多い所、油煙や湯気が当たるような所（調理台や加湿器のそばなど）に置かないでください



火災・感電の原因となることがあります。

- 電源プラグを抜くときは、プラグを持って抜いてください



コードを引っばると、コードが破損し、感電・ショート・火災の原因となることがあります。

- 移動させる場合は、電源プラグや機器の接続線、転倒防止具を外してください。



コードや本機が損傷し、火災・感電の原因となることがあります。

- 接続ケーブルの処理は確実に行ってください



ケーブルを壁面に挟んだり、無理に曲げたり、ねじったりされると、芯線の露出、ショート、断線により、火災・感電の原因となることがあります。

- 新しい電池と古い電池を混ぜたり、指定以外の電池を使用しないでください

- 日光、火などの過度な熱にさらさないでください



取り扱いを誤ると、電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

- 電池を入れるときには、極性（プラス⊕とマイナス⊖）を逆に入れないでください



取り扱いを誤ると、電池の破裂、液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因になることがあります。挿入指示通り正しく入れてください。(☞ 10 ページ)

- 長時間使わないときは、リモコンから電池を取り出してください



液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になることがあります。

- 強い力や衝撃を加えないでください



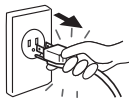
ディスプレイパネルが割れてけがの原因となることがあります。

注意

- 長期間ご使用にならないときは電源プラグをコンセントから抜いてください



電源
プラグを
抜く



電源プラグにほこりがたまり火災・感電の原因となることがあります。

- 本機の運搬や移動および開梱は、付属のアイボルトを使用し、適切な吊り下げ装置や器具を使用して行ってください



人力のみでの作業は、転倒・落下により、けがの原因になることがあります。

- 据置きスタンド(別売)をご使用になるときは、安全のため、転倒・落下防止の処置をしてください



地震やお子様がよじ登ったりすると、転倒・落下しけがの原因となることがあります。

- 据置きスタンドに付属している転倒防止具を使用してください。

- 本機を縦置きに設置されるときは、必ず電源ランプを下側にして設置してください



内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。

- 「初期設定」メニューの「ディスプレイ設置」を「縦」に設定してください。
(P.47 ページ)

- 壁への取り付けの際は、取り付けねじや電源コードが壁内部の金属部と接触しないように設置してください



壁内部の金属部と接触して、感電の原因となることがあります。

- 接続ケーブルを引っばったり、ひっかけたりしないでください



倒れたり、落ちたりしてけがの原因となることがあります。

- 特に、お子様にはご注意ください。

お手入れについて

- 1年に一度は内部の掃除を販売店にご依頼ください



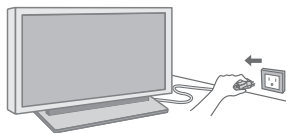
内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。

湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、内部掃除費用については販売店にご相談ください。

- お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください



電源
プラグを
抜く



感電の原因となることがあります。

使用上のお願い

■ 設置されるとき

本機の設置については、下記の事項をお守りください。

屋外に設置しないでください。

- 本機は室内でご使用ください。

機器相互の干渉に注意してください。

- 電磁波妨害による映像の乱れ、雑音などをさせて設置してください。

機器の接続は電源を「切」にして行ってください。

- 各機器の説明書に従って、接続してください。

振動や衝撃が加わる場所への設置は避けてください。

- 本機に振動や衝撃が加わって内部の部品がいたみ、故障の原因となります。
振動や衝撃の加わらない場所に設置してください。

本機の質量に耐えられる場所に設置してください。

- 指定の設置金具をご使用ください。

高圧電線や動力源の近くに設置しないでください。

- 高圧電線や動力源の近くに本機を設置すると妨害を受ける場合があります。

直射日光を避け、熱器具から離して設置してください。

- キャビネットの変形や故障の原因となります。
- 本機の使用環境温度は、海拔 1400m 未満で使用する場合は、0℃～40℃、高地（海拔 1400m 以上～2400m 未満）で使用する場合は、0℃～35℃です。

海拔 1400m 以上 2400m 未満でご使用の際は、「高地モード」を必ず「オン」に設定してください。

- 部品の寿命などに影響を及ぼすおそれや、故障の原因になる場合があります。

海拔 2400m 以上の場所に設置しないでください。

- 部品の寿命などに影響を及ぼすおそれや、故障の原因になる場合があります。

本機を移動されるとき。

- ディスプレイパネル面を上または下にしての移動はパネル内部の破損の原因となります。

直射日光にさらされるような場所に設置しないでください。

- 直射日光が当たると液晶パネルに悪影響を与える場合があります。

塩害や腐食性ガスが発生する場所の近くには設置しないでください。

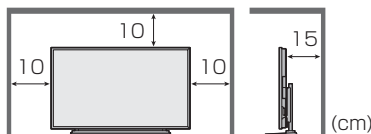
- 腐食により部品の寿命などに影響を及ぼすおそれや、故障の原因になる場合があります。

■ 設置時の空間距離について

84V 型

- 据置きスタンドをご使用のときは、上面・左右は 10 cm 以上、後面は 15 cm 以上の間隔を置いて据えつけてください。また、本機下面と床面との空間をふさがらないでください。その他の取り付けかたでご使用のときは、対応する取り付け工事説明書に従ってください。（工事説明書に寸法の記載がない場合は、上下・左右は 10 cm 以上、後面は 15 cm 以上の間隔を置いて据えつけてください。）

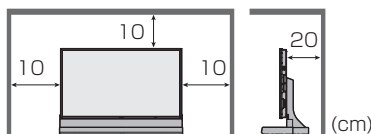
最低空間距離：



98V 型

- 据置きスタンドをご使用のときは、上面・左右は 10 cm 以上、後面は 20 cm 以上の間隔を置いて据えつけてください。また、本機下面と床面との空間をふさがらないでください。その他の取り付けかたでご使用のときは、対応する取り付け工事説明書に従ってください。（工事説明書に寸法の記載がない場合は、上下・左右は 10 cm 以上、後面は 20 cm 以上の間隔を置いて据えつけてください。）

最低空間距離：



■ご使用になるとき

本機は残像が発生することがあります。

- 静止画を継続的に表示した場合、残像が生じることがあります。残像は通常の動画をしばらく表示すると解消されます。

画面に赤い点、青い点または緑の点があるのは、液晶パネル特有の現象で故障ではありません。

- 液晶パネルは非常に精密な技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%の画素欠けや常時点灯するものがありますのでご了承ください。

ディスプレイパネル表面について

- ディスプレイパネル表面に指紋や汚れがつくと、きれいな映像が見られません。傷や汚れがつかないように取り扱いにご注意ください。

適度の音量で隣近所への配慮を

- 特に夜間は小さな音でも通りやすいので、窓を閉めたりして生活環境を守りましょう。

ディスプレイ本体の一部が熱くなることがあります。

- 前面パネル、天面、背面の一部は温度が高くなっておりませんが、性能・品質には問題ありません。

長時間で使用にならないときは

- 電源プラグをコンセントから抜いてください。
- リモコンで電源を切った場合は約 0.5 W、本体の電源を切った場合は約 0.3 W の電力を消費します。

ご覧になっている映像以外の入力端子の接続ケーブルを抜き差ししたり、映像機器の電源を「切」「入」すると映像が乱れることがありますが故障ではありません。

■有線 LAN について

静電気が多く発生するような場所でのディスプレイの使用は、できるだけしないでください。

- じゅうたんなどの静電気が多く発生するような場所でディスプレイを使用する場合、DIGITAL LINK または有線 LAN での通信が切れやすくなります。その場合は、問題となる静電気やノイズ源を取り除いてから、再度、DIGITAL LINK または有線 LAN 接続をしてください。
- まれに静電気やノイズにより LAN 接続ができなくなる場合があります。このような場合は、本機および本機と接続している機器の電源をいったん切ったあと、再度、電源を入れてください。

放送局や無線機からの強い電波により、正常に動作しない場合があります

- 近くに強い電波を発生する設備や機器がある場合は、それらの機器から十分に離して設置するか、両端で接地された金属箔あるいは金属配管で DIGITAL LINK/LAN 端子に接続している LAN ケーブルを覆ってください。

■お手入れについて

必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

キャビネットやディスプレイ保護パネル表面の汚れは柔らかい布（綿・ネル地など）で軽くふく

- ひどい汚れやディスプレイ保護パネルの表面に付着した指紋汚れなどは、水で 100 倍に薄めた中性洗剤に布をひたし、固く絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。
- 水滴が内部に入ると故障の原因になります。



お知らせ

- ディスプレイパネルの表面は特殊な加工をしています。固い布でふいたり、強くこすったりすると表面に傷がつく原因になります。

化学ぞうきんのご使用について

- ディスプレイパネルの表面には使用しないでください。
- キャビネットにご使用の際はその注意書に従ってください。

殺虫剤、ベンジン、シンナーなど揮発性のものをかけない

- キャビネットの変質や塗装がはがれる原因になります。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。



■廃棄について

製品を廃棄する際は、最寄りの市町村窓口または販売店に、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

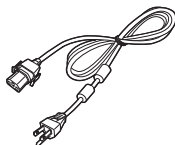
付属品の確認

付属品

付属品が入っていることをご確認ください。
() は個数です。

- 電源コード (1)
(約 3m)

● TXFMX011TJJ

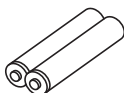


- リモコン (1)

● N2QAYA000093

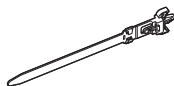


- 単 4 形乾電池 (2)
(リモコン用)

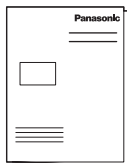


- クランパー (1)

● TMME289



- 取扱説明書



本機を設置するときに業者が使用します。

- アイボルトキャップ (1)

● TMME375-1



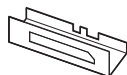
- アイボルト (1)
(M12)



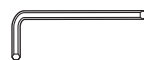
- Panasonic バッジ (1)

Panasonic

- Panasonic バッジ
貼り付け治具 (1)



- 六角レンチ (1)
(M16)

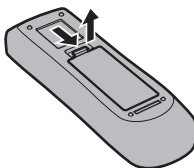


お願い

- 乳幼児の手の届かないところに、適切に保管してください。
- 付属品の品番は予告なく変更する場合があります。
(左記品番と実物の品番が異なる場合があります。)
- 付属品を紛失された場合は、お買い上げの販売店へ左記品番でご注文ください。(サービスルート扱い)
- 電源コードキャップおよび包装材料は商品を取り出したあと、適切に処理してください。

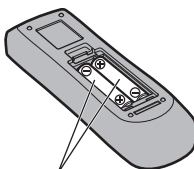
リモコンの電池の入れかた

ふたをあける



電池を入れ、ふたをしめる

(⊖ 側から先に入れます。)



単 4 形乾電池

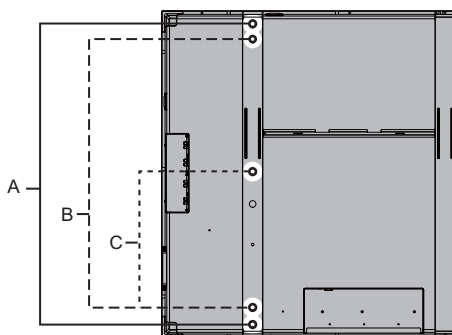
お願い

- リモコンに液状のものをかけないでください。
- リモコンを落とさないでください。
- 電池を分解したり、火の中に投入したりしないでください。また、直射日光の当たる場所や火のそばなど、高温の場所に保管しないでください。

設置金具取り付け時の注意 (98V 型用)

TH-98LQ70J に別売オプションの設置金具を取り付ける際は、設置金具の種類に応じてスタンドフックを下図に示す位置に取り付けてください。

スタンドフック取り付け位置



A: 天吊り金具 (同梱のボルトで取り付けるのでスタンドフックは不要です。)

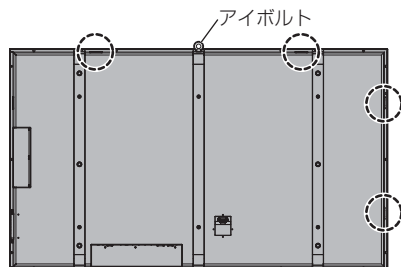
B: 壁掛け金具

C: 据置きスタンド

アイボルトについて

本機は出荷時にアイボルト (M12) が 1 個上部中央に取り付けられています。設置の際、本機を吊り上げるためにご利用ください。また必要に応じて下図に示すアイボルト穴をご利用ください。

アイボルト取り付け穴位置



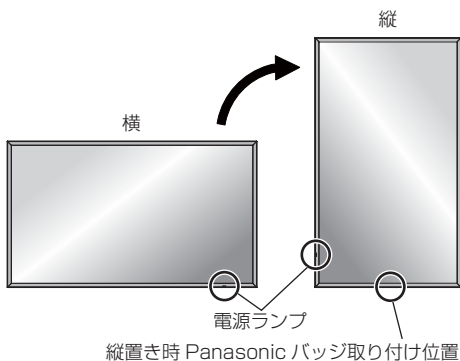
お願い

- 設置工事は工事専門業者にご依頼ください。
- 付属のアイボルト以外のアイボルトやねじ等を使用しないでください。
- 設置後にはアイボルトを取り外して、付属のアイボルトキャップで孔を塞いでください。

縦置き設置について

本機を縦置きで使用する場合は、下図のように電源ランプを下側にして設置してください。

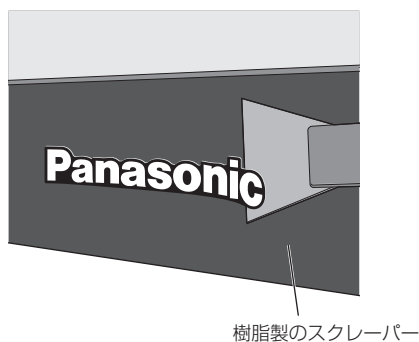
また、「初期設定」メニューの「ディスプレイ設置」を「縦」に設定してください。(P.47 ページ)



Panasonic バッジの取り付け

出荷時に貼り付けられている Panasonic バッジを剥がし、付属する Panasonic バッジを上図の位置に貼り付けてください。

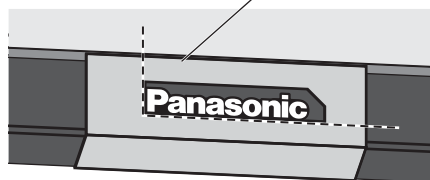
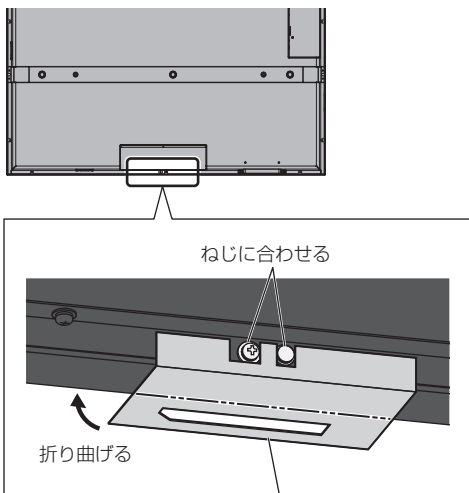
バッジを剥がす際は、樹脂製のスクレーパー等で丁寧に剥がしてください。粘着剤が残った場合は、柔らかい布で拭きとってください。



(次ページへ続く)

Panasonic バッジを貼り付ける際は同梱の Panasonic バッジ貼り付け治具をご使用ください。

下の図のように、Panasonic バッジ貼り付け治具の切欠き部をねじ 2 箇所に合わせて仮止めしてから Panasonic バッジを貼り付けてください。



別売オプション

別売オプションの設置金具は、しっかり取り付けてください。(取り付けは専門の業者にご依頼ください。)

据置きスタンド** :

- TY-ST85P12 (84V 型用)
- TY-ST103PF9 (98V 型用)

ディスプレイ用移動式スタンド :

- TY-ST85PB1 (84V 型用)

壁掛け金具 垂直取付型* :

- TY-WK85PV12 (84V 型用)
- TY-WK103PV9 (98V 型用)

天吊り金具* :

- TY-CE85PS12 (84V 型用)
- TY-CE103PS10 (98V 型用)

3G-SDI 端子ボード (音声対応) :

- TY-TBN03G

デジタルインターフェースボックス :

- ET-YFB100

※ これらの設置金具取り付け用のねじ径は M16 です。

お願い

- 取り付けるときは別売オプションに同梱の説明書をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。
- 壁掛けまたは天吊りの取り付け工事は、性能・安全確保のため、必ずお求めの販売店または専門業者に施工を依頼してください。
- 据置きスタンドの説明書をよくお読みのうえ、必ず転倒防止の処置をしてください。
- 当社製以外のスタンド、壁掛け金具または天吊り金具の使用、ならびにスタンド、壁掛け金具または天吊り金具設置環境の不具合による製品の損傷などについては、保証期間中であっても責任を負いかねますのでご注意ください。
- ご使用を終了した製品は、工事専門業者にご依頼のうえ速やかに撤去してください。
- 設置時、衝撃などによる「パネルの割れ」が発生する場合がありますので、取り扱いにはご注意ください。
- 3G-SDI 端子ボード (音声対応) (TY-TBN03G) をご使用のときは同梱の取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

別売オプションの設置金具・スタンドはプラズマディスプレイとの共用品となっております。

本機でご使用になる場合は、下記の WEB サイトより、ご使用の設置金具・スタンドの液晶ディスプレイ対応のご注意をご確認のうえ、設置をお願いします。

<http://panasonic.biz/prodisplays/download/maunal/index.html>

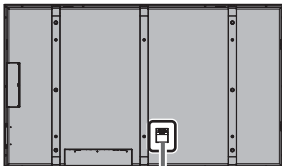
接続

電源コードの接続と固定

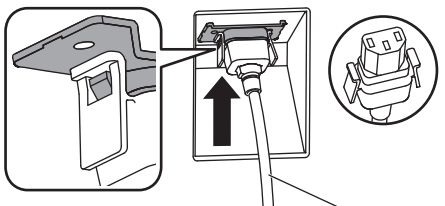
お願い

- 付属の電源コードセットは、本機専用です。他の用途に使用しないでください。

本体後面



電源コードの固定方法



電源コード (付属)

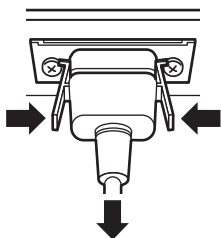
コネクターを本体へ差し込む

カチッと音がするまで差し込んでください。

お願い

- 左右のロックが掛かっていることを確認してください。

電源コードを外すとき



コネクター横のつまみを押しながら抜いてください

お願い

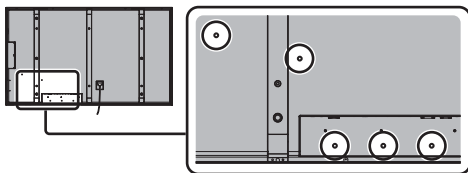
- 電源コードを外す場合は、必ずコンセント側の電源プラグを先に抜いてください。

接続ケーブルの固定

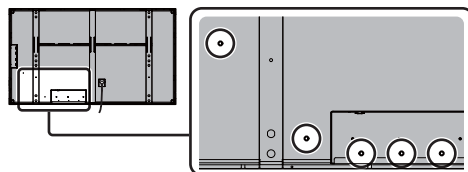
お願い

- 本機はクランパーを 1 本だけ付属しています。ケーブルを 5 ヶ所の穴で固定する場合はクランパーを別途ご用意ください。クランパーをご購入される場合はお買い上げの販売店へご注文ください。(サービスルート扱い)

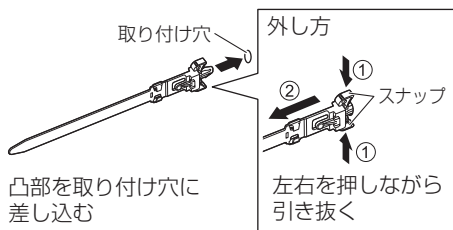
84V 型



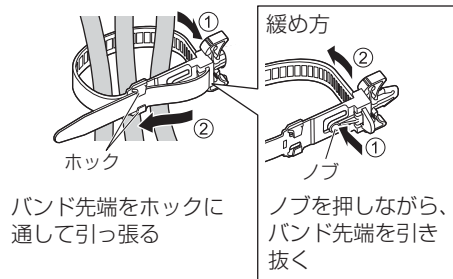
98V 型

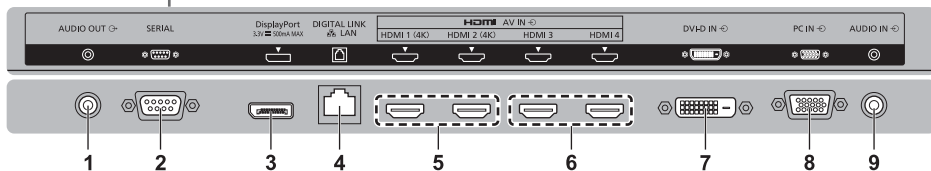
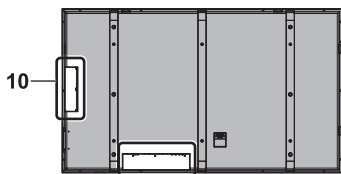


1. クランパーの取り付け



2. ケーブルを束ねる





1 AUDIO OUT : アナログ音声出力端子

アナログ音声入力端子があるオーディオ機器を接続します。
(☞ 20 ページ)

2 SERIAL : シリアル制御端子

パソコンに接続して本機を制御します。(☞ 18 ページ)

3 DisplayPort : DisplayPort 入力端子 (4K 映像対応)

DisplayPort 出力端子があるパソコンや映像機器を接続します。
(☞ 18 ページ)

4 DIGITAL LINK / LAN* : DIGITAL LINK 入力端子 (4K 映像対応)

ネットワークに接続して本機を制御します。または、DIGITAL LINK 端子経由で映像・音声信号を送出する機器を接続します。(☞ 20 ページ)

5 AV IN (HDMI 1、HDMI 2) : HDMI 入力端子 (4K 映像対応)

4K 信号出力がある映像機器またはビデオデッキや DVD プレーヤーなどの映像機器を接続します。(☞ 15 ページ)

6 AV IN (HDMI 3、HDMI 4) : HDMI 入力端子

ビデオデッキや DVD プレーヤーなどの映像機器を接続します。
(☞ 15 ページ)

7 DVI-D IN : DVI-D 入力端子

DVI-D 出力がある映像機器を接続します。
(☞ 16 ページ)

8 PC IN : パソコン入力端子

パソコンの映像端子、「Y、P_B(C_B)、P_R(C_R)」または「R、G、B」出力のある映像機器を接続します。
(☞ 17 ページ)

9 AUDIO IN : DVI-D IN と PC IN 共用の音声入力端子

(☞ 16、17 ページ)

10 SLOT1、SLOT2 : 機能拡張用スロット

別売の端子ボードを取り付けます。
(☞ 12 ページ)

※ DIGITAL LINK は、映像・音声などの信号をツイストペアケーブルを使用して伝送する技術です。詳しくは 60 ページをご覧ください。

HDMI 1 ～ 4 端子の接続例

HDMI 1 および HDMI 2 端子は 4K 映像に対応しています。4K 映像の入力には次のような組み合わせがあります。

お願い

- 入力の組み合わせに応じて「初期設定」-「HDMI 4K インターフェイス」を設定してください。(P.47 ページ)

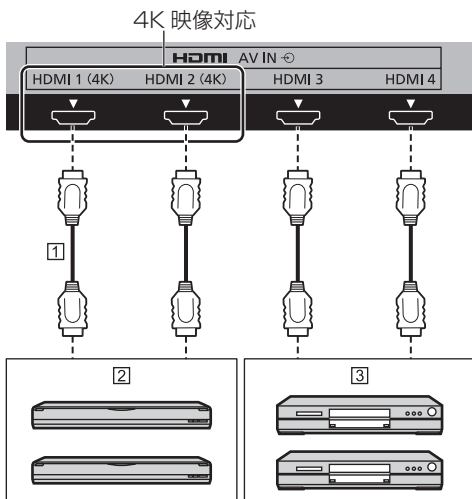
お知らせ

- 映像機器や HDMI ケーブルは本機に付属していません。
- 一部の HDMI 機器で映像を表示できないものがあります。

■ 4K 映像機器の接続例

1 端子で 4K 入力

HDMI 1 および HDMI 2 端子に 1 端子出力の 4K 映像機器をそれぞれ 1 台ずつ接続します。HDMI 3 および HDMI 4 端子には 1 端子出力の 4K 映像機器を接続できません。



- ① HDMI ケーブル (市販品)
- ② 1 端子出力の 4K 映像機器 (BD レコーダーなど)
- ③ DVD プレーヤーなど (4K 映像非対応)

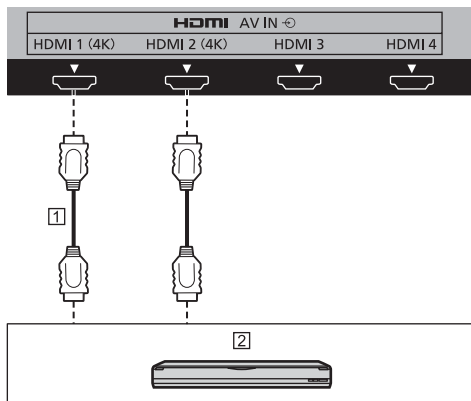
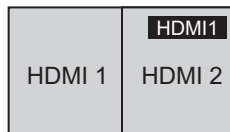
2 端子で 4K 入力 (Dual Link)

HDMI 1 および HDMI 2 端子に 2 端子出力の 4K 映像機器を 1 台接続します。

HDMI 3 および HDMI 4 端子には 2 端子出力の 4K 映像機器を接続できません。

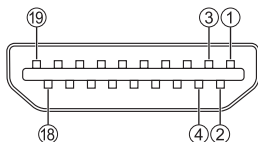
下の表示イメージのように映像機器の出力信号が正しい位置に表示されるように接続してください。

表示イメージ



- ① HDMI ケーブル (市販品)
- ② 2 端子出力の 4K 映像機器 (BD レコーダーなど)

HDMI 端子のピン配列と信号名

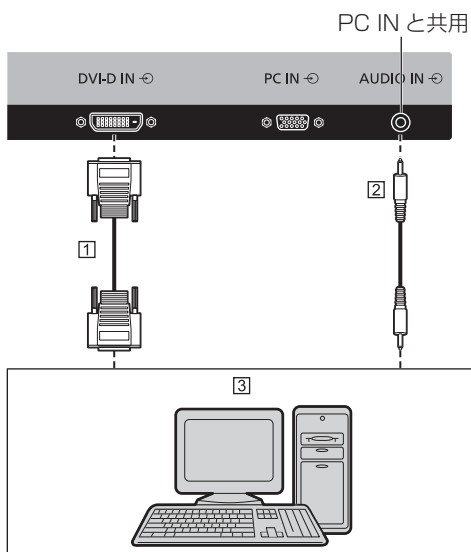


ピン No.	信号名
①	T.M.D.S データ 2 +
②	T.M.D.S データ 2 シールド
③	T.M.D.S データ 2 -
④	T.M.D.S データ 1 +
⑤	T.M.D.S データ 1 シールド
⑥	T.M.D.S データ 1 -
⑦	T.M.D.S データ 0 +
⑧	T.M.D.S データ 0 シールド
⑨	T.M.D.S データ 0 -
⑩	T.M.D.S クロック+
⑪	T.M.D.S クロックシールド
⑫	T.M.D.S クロック-
⑬	CEC
⑭	
⑮	SCL
⑯	SDA
⑰	DDC/CEC グランド
⑱	+5V 電源
⑲	ホットプラグ検出

DVI-D IN 端子の接続例

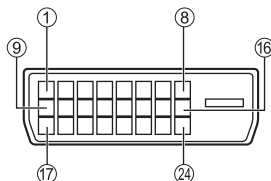
お知らせ

- 映像機器や接続ケーブルおよび変換プラグは本機に付属していません。



- ① DVI-D ケーブル (5m 以内) (市販品)
- ② ステレオミニプラグ (M3)
- ③ DVI-D 出力付きパソコン

DVI-D 入力端子のピン配列と信号名

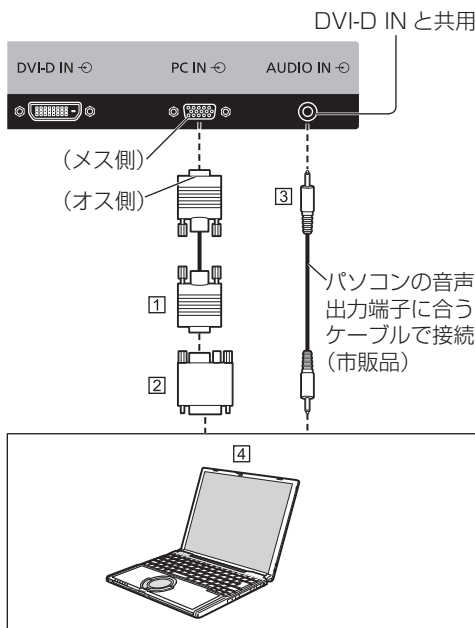


ピン No.	信号名
①	T.M.D.S. データ 2 -
②	T.M.D.S. データ 2 +
③	T.M.D.S. データ 2 シールド
④	_____
⑤	_____
⑥	DDC クロック
⑦	DDC データ
⑧	_____
⑨	T.M.D.S. データ 1 -
⑩	T.M.D.S. データ 1 +
⑪	T.M.D.S. データ 1 シールド
⑫	_____
⑬	_____
⑭	+5V 電源
⑮	GND (アース)
⑯	ホットプラグ検出
⑰	T.M.D.S. データ 0 -
⑱	T.M.D.S. データ 0 +
⑲	T.M.D.S. データ 0 シールド
⑳	_____
㉑	_____
㉒	T.M.D.S. クロックシールド
㉓	T.M.D.S. クロック +
㉔	T.M.D.S. クロック -

お願い

- DVI-D ケーブルは DVI 規格準拠のケーブルをご使用ください。(ケーブルの長さや質によって画質は劣化する場合があります)

PC IN 端子の接続例



- ① ミニ D-sub 15 ピンケーブル (市販品)
- ② 変換アダプター〔必要なとき〕(市販品)
- ③ ステレオミニピンプラグ (M3)
- ④ パソコン

接続できるパソコン信号の種類

- 本機は「プリセット信号」(☞ 71 ページ)に記載のパソコン信号について、あらかじめ標準的な画面の位置やサイズなどの調整値を記憶しています。表に記載されていないパソコン信号は、最大 8 種類まで追加して記憶します。(対応周波数は水平：15 kHz ~ 110 kHz、垂直：48 Hz ~ 120 Hz です。)
- 解像度は「ノーマル」で最大 1440 × 1080 ドット、「フル」で最大 1920 × 1080 ドットの表示が可能です。(SXGA 対応)
水平または垂直解像度が上記ドットを超えるものは簡易表示になり、細かい表示が十分判読できない場合があります。
- 対応周波数を超える信号を入力すると、正常な映像を表示できません。なお、範囲内でも一部正常な映像を表示できない場合があります。
- パソコンの画面が表示されない場合はパソコンの映像信号が「プリセット信号」(☞ 71 ページ)に該当しているかご確認のうえ、設定を変更してください。ノートパソコンでは、省電力のために映像出力をオフにしている場合があります。そのときはパソコンのファンクションキーの操作などによりオンにできる場合があります。(パソコンの取扱説明書をご確認ください)

お願い

- この端子 (ミニ D-sub 15 ピン) は、コンポーネント (色差) ビデオ信号に対応しています。入力信号に合わせて「信号モード」メニューの「コンポーネント入力切換」で色差ビデオか RGB 入力の選択を行ってください。(☞ 40 ページ)

お知らせ

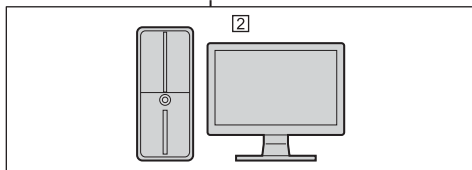
- ディスプレイのプラグ・アンド・プレイ (DDC2B) に対応していないパソコンは接続時の設定が必要です。
 - パソコンのモデルによっては、本機と接続できないものもあります。
 - D-sub 15 ピン端子の機種や Macintosh のパソコンを接続する場合には、必要に応じて市販の変換アダプターをお使いください。
- ※ パソコンのミニ D-sub 15 ピン端子が、DOS/V に対応している機種は、変換アダプターは必要ありません。

パソコン入力端子 (ミニ D-sub 15 ピン) のピン配列と信号名



ピン No.	信号名
①	R (P _R / C _R)
②	G (Y)
③	B (P _B / C _B)
④	NC (無接続)
⑤	GND (アース)
⑥	GND (アース)
⑦	GND (アース)
⑧	GND (アース)
⑨	+5 V DC
⑩	GND (アース)
⑪	NC (無接続)
⑫	SDA
⑬	HD / SYNC
⑭	VD
⑮	SCL

DisplayPort 端子の接続例

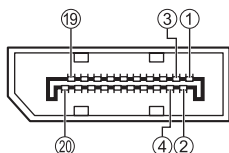


- ① DisplayPort ケーブル (市販品)
- ② DisplayPort 出力付きパソコン

お願い

- DisplayPort 1.2 対応のケーブルを使用してください。ケーブルやミニ変換コネクタの種類によっては 4K 映像が表示されない場合があります。
- DisplayPort 対応の初期のチップセットやグラフィックスカードを使用しているパソコンとの接続において、パソコンの DisplayPort 出力を本機に入力した場合、本機やパソコン自体が正常に動作しなくなる場合があります。その場合は本機またはパソコンの電源をいったん切ってから入れなおしてください。DisplayPort 出力を本機に入力する場合は、最新のチップセットやグラフィックスカードを使用したパソコンを使用することをお勧めします。

DisplayPort 端子のピン配列と信号名



ピン No.	信号名
①	メインリンクレーン 3 -
②	GND (アース)
③	メインリンクレーン 3 +
④	メインリンクレーン 2 -
⑤	GND (アース)
⑥	メインリンクレーン 2 +
⑦	メインリンクレーン 1 -

ピン No.	信号名
⑧	GND (アース)
⑨	メインリンクレーン 1 +
⑩	メインリンクレーン 0 -
⑪	GND (アース)
⑫	メインリンクレーン 0 +
⑬	コンフィグ 1
⑭	コンフィグ 2
⑮	補助チャンネル +
⑯	GND (アース)
⑰	補助チャンネル -
⑱	ホットプラグ検出
⑲	GND (アース)
⑳	+ 3.3V 電源出力

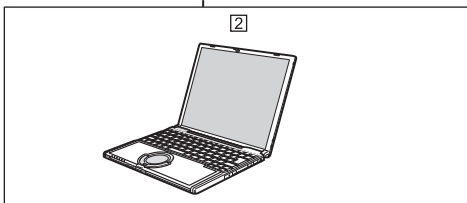
SERIAL (シリアル) 端子の接続例 (パソコンで制御する場合)

SERIAL (シリアル) 端子は RS-232C 準拠のため、パソコンと接続して本体をパソコンで制御することができます。



(オス側)
(メス側)

「D-sub 9 ピン」

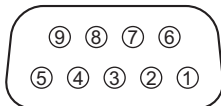


- ① RS-232C ストレートケーブル (市販品)
- ② パソコンなど

お願い

- SERIAL (シリアル) 端子とパソコンをつなぐ通信用 RS-232C ストレートケーブルは、使用されるパソコンに合わせてご用意ください。

SERIAL (シリアル) 端子のピン配列と信号名



ピン No.	信号名
①	CD (NC)
②	RXD (受信データ)
③	TXD (送信データ)
④	DTR (未使用)
⑤	GND (アース)
⑥	DSR (未使用)
⑦	RTS
⑧	CTS] (本体側で短絡)
⑨	RI (NC)

通信条件

信号レベル: RS-232C 準拠

同期方式: 調歩同期 (非同期)

ボーレート: 9600 bps

パリティ: なし

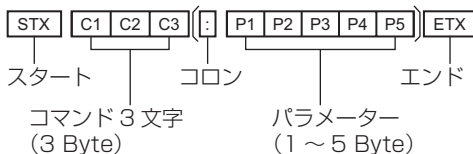
キャラクター長: 8 ビット

ストップビット: 1 ビット

フロー制御: なし

基本フォーマット

パソコンからの伝送は STX で開始され、続いてコマンド、パラメーター、最後に ETX の順に送信します。パラメーターは制御内容の必要に応じて付加してください。



コマンド一覧

コマンド	パラメーター	制御内容
PON	なし	電源「入」
POF	なし	電源「切」
AVL	**	音量 00 ~ 63
AMT	0	消音 オフ
	1	消音 オン
IMS	なし	入力切替 (トグル)
	SL1	SLOT 1 入力 (SLOT1)
	S1A	SLOT 1A 入力 (SLOT1A)
	S1B	SLOT 1B 入力 (SLOT1B)
	SL2	SLOT 2 入力 (SLOT2)
	S2A	SLOT 2A 入力 (SLOT2A)
	S2B	SLOT 2B 入力 (SLOT2B)
	HM1	HDMI 1 入力 (HDMI1)
	HM2	HDMI 2 入力 (HDMI2)
	HM3	HDMI 3 入力 (HDMI3)
	HM4	HDMI 4 入力 (HDMI4)
	DP1	DisplayPort 入力 (DisplayPort)
	DV1	DVI-D IN 入力 (DVI-D)
	PC1	PC IN 入力 (PC)
DL1	DIGITAL LINK 入力 (DIGITAL LINK)	
DAM	なし	画面モード切替 (トグル)
	ZOOM	ズーム 1
	FULL	フル
	NORM	ノーマル
	ZOM2	ズーム 2

お願い

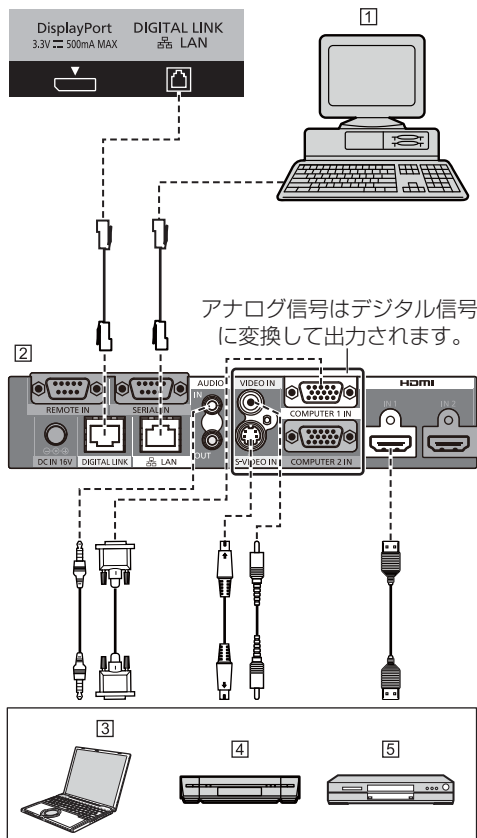
- 複数のコマンドを送信する場合は、必ず本機からの応答を受け取ってから、次のコマンドを送信してください。パラメーターを必要としないコマンドを送信する場合はコロン (:) は必要ありません。

お知らせ

- 間違ったコマンドを送信すると、本機から“ER401”というコマンドがパソコン側に送信されます。
- 電源「スタンバイ」状態 (リモコンで電源「切」) 中は“PON”コマンド以外の動作は保証されません。
- コマンド IMS の S1A と S1B を選択できるのは、2 入力の端子ボード装着時のみです。
- コマンドの詳細については販売店にご相談ください。

DIGITAL LINK 端子の接続例

当社製デジタルインターフェースボックス (ET-YFB100) などのツイストペアケーブル伝送器は、入力された映像・音声信号などをツイストペアケーブルを使用して伝送するもので、本機はそのデジタル信号を DIGITAL LINK 端子に入力することができます。



- ① 本機の制御用パソコン
- ② 当社製 ET-YFB100 の場合
- ③ パソコン
- ④ ビデオデッキ
- ⑤ DVD プレーヤー

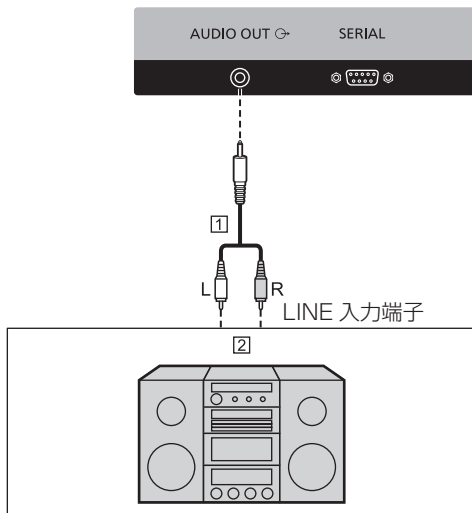
お知らせ

- DIGITAL LINK 接続をご利用になる場合は「ネットワーク設定」の各設定を行ってください。DIGITAL LINK の設定や接続上の注意事項については 60 ~ 66 ページをご覧ください。
- DIGITAL LINK 入力の対応信号は HDMI 入力と同じです。
- 当社製デジタルインターフェースボックス ET-YFB100 は 4K 信号の伝送に対応していません。

AUDIO OUT 端子の接続例

お知らせ

- オーディオ機器や接続ケーブルは本機に付属していません。



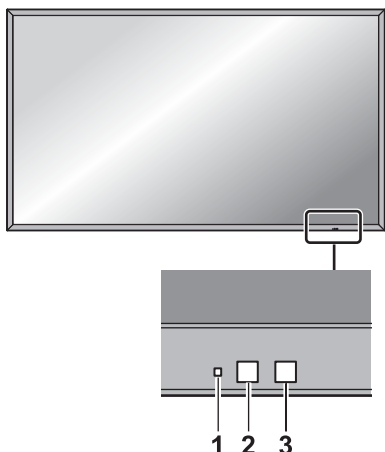
- ① ステレオ音声コード (市販品)
- ② オーディオ機器

お願い

- 本機の AUDIO OUT 端子から音声を出力する場合は「音声の調整」メニューの「出力切替」を必ず「外部出力」に設定してください。(P.33 ページ)

各部の基本説明

ディスプレイ本体



1 電源ランプ

ディスプレイ本体の電源「入」のとき（電源スイッチ「入」）

- 映像表示状態：緑色点灯
- リモコンで「切」（スタンバイ）：赤色点灯
 - ・「ネットワークコントロール」が「オン」のとき（[☞](#) 50 ページ）：橙色点灯
- 「パワーマネージメント」機能で電源「切」：橙色点灯
「パワーマネージメント」機能について（[☞](#) 43 ページ）

ディスプレイ本体の電源「切」のとき（電源スイッチ「切」）：消灯

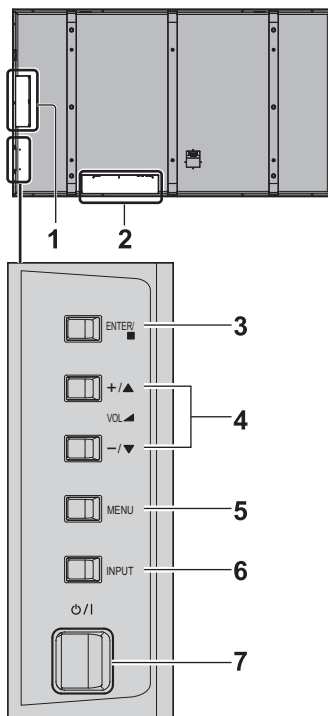
お知らせ

- 電源が「切」および電源ランプが赤色、無点灯の場合でも一部の回路は通電状態にあります。
- 電源ランプが橙色の場合は赤色の場合に比べて、スタンバイ状態の電力が一般に増加します。

2 リモコン受信部

3 明るさセンサー

視聴環境の明るさを検知します。（[☞](#) 43 ページ）



1 SLOT1、SLOT2

別売の端子ボードを取り付けます。（[☞](#) 12 ページ）

2 外部入力端子

映像機器やパソコンなどを接続します。（[☞](#) 14 ページ）

3 ENTER / ■ ボタン

メニュー画面で項目を決定します。/画面モードを切り換えます。（[☞](#) 30 ページ）

メニュー画面で設定項目を選択中に ENTER / ■ ボタンを押すと、操作ボタンガイドの ▲▼ 表示が ◀▶ に切り換わります。

4 VOL + / ▲▼ ボタン

音量を調整します。/メニュー画面で項目を選択したり、設定の切り換えやレベルを調整します。（[☞](#) 26・30 ページ）

5 MENU ボタン

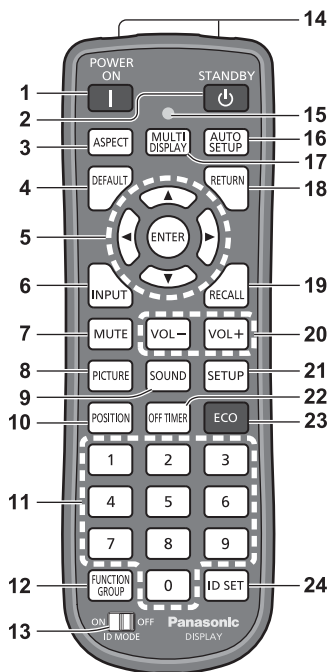
メニュー画面を表示します。（[☞](#) 30 ページ）

6 INPUT ボタン

接続された機器を選択します。（[☞](#) 25 ページ）

7 電源スイッチ (φ/I)

電源を「入」「切」します。



1 POWER ON ボタン (I)

- ディスプレイ本体の電源スイッチが「入」でスタンバイ状態のとき、電源「入」(受信状態)にします。(☞ 23 ページ)

2 STANDBY ボタン (⏻)

- ディスプレイ本体の電源スイッチが「入」で受信状態のとき、電源「切」(スタンバイ状態)にします。(☞ 23 ページ)

3 ASPECT ボタン

- 画面モード (アスペクト) を選択します。(☞ 27 ページ)

4 DEFAULT ボタン

- 映像や音声などの調整状態を標準値に戻します。(☞ 31・33・34 ページ)

5 ENTER ボタン / カーソルボタン (▼▲◀▶)

- メニュー画面の操作に使用します。(☞ 30 ページ)

6 INPUT ボタン

- ディスプレイに表示する入力を切り換えます。(☞ 25 ページ)

7 MUTE ボタン

- 音量を一時的に消します。(☞ 26 ページ)

8 PICTURE ボタン

- (☞ 34 ページ)

9 SOUND ボタン

- (☞ 33 ページ)

10 POSITION ボタン

- (☞ 31 ページ)

11 数字 (0 ~ 9) ボタン

- 本機を複数台使用するシステム時、ID 番号の入力に使用します。(☞ 67 ページ)
- よく使う操作をボタンに割り当て、ショートカットボタンとして使用します。(☞ 46 ページ)

12 FUNCTION GROUP ボタン

- (☞ 46 ページ)

13 ID MODE スイッチ

- (☞ 67 ページ)

14 リモコン発信部

15 リモコン操作表示ランプ

- リモコンのボタンを押すと点滅します。

16 AUTO SETUP ボタン

- 画面の位置 / サイズを自動補正します。(☞ 31 ページ)

17 MULTI DISPLAY ボタン

- 1 画面と 4 画面を切り換えます。(☞ 28 ページ)

18 RETURN ボタン

- 1 つ前のメニュー画面に戻します。(☞ 30 ページ)

19 RECALL ボタン

- 入力モード・画面モードなどの各種設定状態を確認します。(☞ 25 ページ)

20 VOL - ボタン / VOL + ボタン

- 音量を調節します。(☞ 26 ページ)

21 SETUP ボタン

- (☞ 39 ページ)

22 OFF TIMER ボタン

- 自動的に電源を切ります。(☞ 26 ページ)

23 ECO ボタン

- ECO モードの設定状態を切り換えます。(☞ 43 ページ)

24 ID SET ボタン

- 本機を複数台使用するシステム時、リモコンの ID 番号を設定する場合に使用します。(☞ 67 ページ)

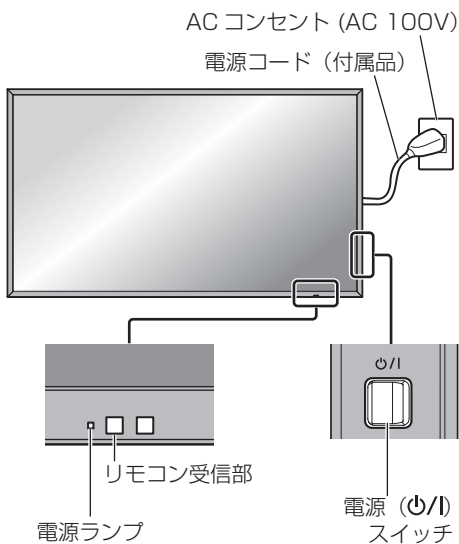
お願い

- 本体のリモコン受信部とリモコン間に障害物を置かないでください。
- 本体のリモコン受信部に直射日光や蛍光灯の強い光を当てないでください。

お知らせ

- 本書では <POWER ON> のようにリモコンや本体のボタンを <> で表しています。また、主にリモコンのボタンで操作説明をしています。本体に同様のボタンがある場合は、いずれのボタンもご使用になれます。

基本の操作



リモコンはリモコン受信部へ向けて操作してください



1 電源コードをディスプレイに接続する

(13 ページ)

2 電源プラグをコンセントへ接続する

(AC 100 V 50 Hz/60 Hz)

お願い

- 電源コードを外す場合は、必ずコンセント側の電源プラグを先に抜いてください。

3 本体の電源 (ON/OFF) スイッチを押し電源を「入」にする

電源ランプ：緑色点灯 (受像状態)

- 本体の電源が「入」のとき、リモコンで操作ができます。

リモコンで「入」「切」する

電源を入れる

- 本体の電源「入」(電源ランプ --- 赤色または橙色) で <POWER ON> を押すと受像します。

電源ランプ：緑色点灯 (受像状態)

電源を切る

- 電源「入」(電源ランプ --- 緑色) で <STANDBY> を押すと電源「切」になります。

電源ランプ：赤色点灯 (スタンバイ)

電源が「入」またはスタンバイのときに電源 (ON/OFF) スイッチを押すと、ディスプレイ本体の電源が切れます。

お知らせ

- 「パワーマネージメント」機能が動くと電源が「切」になり、電源ランプは橙色で点灯します。
(パワーマネージメント機能について 43 ページ)

■ 初めて電源を「入」にしたとき

次の画面が表示されます。

リモコンで設定してください。本体のボタンでは設定できません。

1 ▲▼でご利用の言語を選択し、<ENTER>を押す



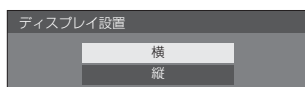
2 ▲▼で「曜日」または「現在時刻」を選択し、◀▶で設定する



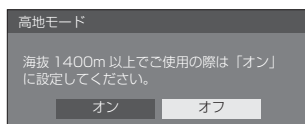
3 ▲▼で「設定」を選択し、<ENTER>を押す



4 縦置き設置をする場合は▲▼で「縦」を選択し、<ENTER>を押す



5 ◀▶で「オン」または「オフ」を選択し、<ENTER>を押す



お知らせ

- これらの画面は一度設定すると、次回電源を「入」にしたとき表示されません。必要に応じて、次のメニューで設定してください。
表示言語切換 ㊦ 48 ページ
現在時刻設定 ㊦ 47 ページ
ディスプレイ設置 ㊦ 47 ページ
高地モード ㊦ 47 ページ

■ 電源「入」時のメッセージ

本機の電源を「入」にしたとき、次のメッセージが表示される場合があります。

無操作自動オフ警告メッセージ

無操作自動オフ機能が有効です。

「初期設定」メニューの「無操作自動オフ」を「有効」に設定した場合、電源を入れたときに警告メッセージが表示されます。(㊦ 48 ページ)

パワーマネージメントお知らせメッセージ

パワーマネージメントが働きました。

「パワーマネージメント」が働いた場合、電源を入れたときにお知らせメッセージが表示されます。(㊦ 43 ページ)

これらのメッセージは、次のメニューで設定できます。

- ・「Options」メニュー
Power on message(No activity power off) (㊦ 58 ページ)
Power on message(Power management) (㊦ 58 ページ)

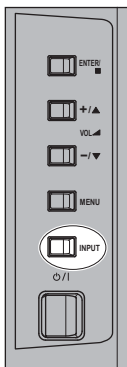
入力信号を切り換える

本機に入力された信号を選択します。

リモコンまたは本体の <INPUT> を押す

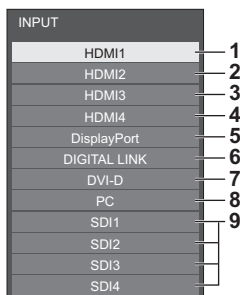


本体ボタン



押すことに入力が切り換わります。

- ・ <INPUT> を押した後、▲▼ で入力を選んで <ENTER> を押しても設定できます。



- 1 HDMI 1 端子入力 (4K 映像対応) ※
- 2 HDMI 2 端子入力 (4K 映像対応) ※
- 3 HDMI 3 端子入力 ※
- 4 HDMI 4 端子入力 ※
- 5 DisplayPort 端子入力 (4K 映像対応)
- 6 DIGITAL LINK 端子入力 (4K 映像対応)
- 7 DVI-D IN 端子入力
- 8 PC IN 端子入力
- 9 オプションの 3G-SDI 端子ボード (音声対応) (TY-TBNO3G) を装着している場合に表示されます。

※ 4K 映像入力時は、「初期設定」 - 「HDMI 4K インターフェイス」の設定により「HDMI1」～「HDMI4」の表示は異なります。(☞ 47 ページ)

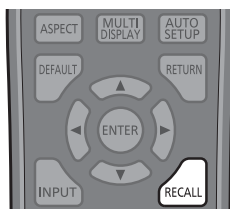
お知らせ

- 「入力表示書換設定」で設定した信号名を表示します。(☞ 44 ページ)
- 「Audio input select」で設定した音声が出力されず。(☞ 54 ページ)
- 「Input lock」が「Off」以外の設定のときは入力は切り換わりません。(☞ 55 ページ)
- 静止画を長時間映すと、液晶パネルに映像の焼き付き(残像現象)が発生する場合があります。このような現象を軽減するため、スクリーンセーバー機能のご利用をおすすめします。(☞ 41 ページ)

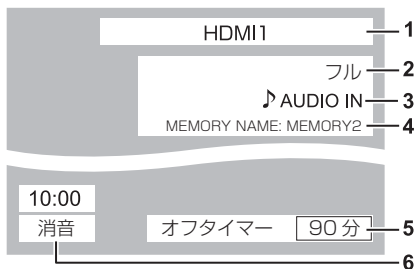
入力信号・画面モードなどを知りたいとき

入力信号・画面モードなどの各種設定状態の確認ができます。

<RECALL> を押す



現在の設定内容が表示されます。

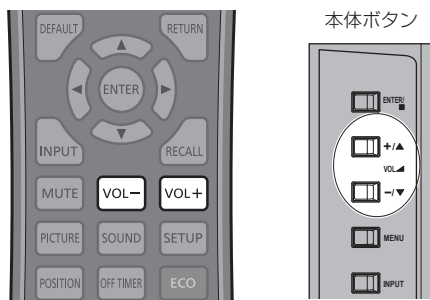


- 1 入力信号
- 2 画面モード (☞ 27 ページ)
- 3 音声入力 (☞ 54 ページ)
- 4 メモリー名 (☞ 38 ページ)
- 5 オフタイマー残り時間 (☞ 26 ページ)
- 6 時計/消音 (☞ 26 ページ)

- ・ 選択している入力に映像信号がない場合は、最後に「無信号」が約 30 秒間表示されます。
- ・ 時計表示をするには、現在時刻を設定し、「Clock display」を「On」に設定してください。(☞ 47 - 58 ページ)
- ・ 「初期設定」 - 「OSD 位置」で表示位置を設定できます。(☞ 48 ページ)

音量を調整する

リモコンまたは本体の <VOL +> <VOL -> を押し
て音量を調整する



- 電源を「切」にしても現在の音量を記憶しています。
- 「Maximum VOL level」(最大音量設定)が「On」のときは、設定した音量まで上げると表示(数値)は赤色になり、設定した音量以上にはなりません。(P.55 ページ)

消音を使う

一時的に音声を消したいとき、来客や電話などの
対応のとき便利です。

<MUTE> を押す

画面に「消音」の表示が出て音が消えます。再度押
すと解除されます。



- 電源の「切」、「入」または音量を変えても解除され
ます。
- 消音設定中は、操作後に「消音」の表示が出てお知
らせします。

オフタイマー (OFF TIMER) を使う

タイマー設定 (30分、60分、90分) で自動
的に電源を切ることができます。


<OFF TIMER> を押すごとに、タイマー設定時
間が選択できます。

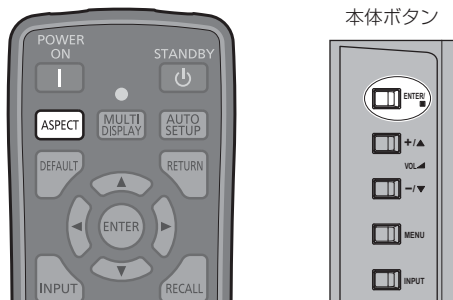
30分 → 60分 → 90分 → 0分 (解除)



- タイマーが切れる 3 分前になると残り時間を点滅 (赤
色) 表示した後、電源が切れます。
- オフタイマー残り時間を知りたいときは
<RECALL> を押します。
- オフタイマー動作中に停電などで電源が切れると、
オフタイマーは解除されます。

映像に合わせた拡大画面にする (ASPECT)

<ASPECT> または 本体の <ENTER/  > を押すことに切り換わります。


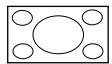

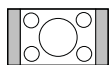
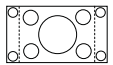
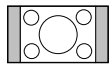


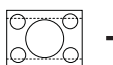

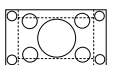

ノーマル → ズーム1 → ズーム2 → フル

お知らせ

- 画面モードは入力端子ごとに記憶します。

■ 画面モード一覧

画面モード	説明
フル	<p>映像  → 拡大画面 </p> <p>映像を画面いっぱいに表示します。SD 信号の場合は 4:3 の映像を横方向に拡大します。4:3 に縮小処理された 16:9 映像を横方向に拡大して表示します。</p>
ノーマル	<p> → </p> <p>4:3 映像をそのまま表示します。画面の両端にはサイドパネルを表示します。</p>
	<p> → </p> <p>16:9 信号内の 4:3 映像をそのまま表示します。映像の両端はサイドパネルでマスクされます。</p>

画面モード	説明
ズーム1	<p> → </p> <p>16:9 のレターボックス映像を縦および横方向に拡大し、画面いっぱいに表示します。映像の上下端はカットされます。</p>
ズーム2	<p> → </p> <p>16:9 のレターボックス映像を縦および横方向に拡大し、画面いっぱいに表示します。映像の上下端および左右端はカットされます。</p>

お知らせ

- このディスプレイは、各種の画面モード切り換え機能を備えています。テレビ番組等ソフトの映像比率と異なるモードを選択されますと、オリジナルの映像とは見えかたに差が出ます。この点にご留意のうえ、画面モードをお選びください。
- ディスプレイを営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、画面モード切り換え機能を利用して画面の縮小や拡大等を行いますと、著作権法上の権利を侵害するおそれがあります。他人の著作物は、許諾なく営利目的で視聴させたり、改変したりすることができませんのでご注意願います。
- ワイド映像でない 4:3 の映像をズーム・フルモードを利用して、ディスプレイの画面いっぱいに表示してご覧になると、周辺画像が一部見えなくなったり、変形して見えます。制作者の意図を尊重したオリジナルの映像は、ノーマルモードでご覧になれます。

4 入力マルチ画面表示

4 つの機器から入力した映像を、1 つのディスプレイに 4 分割で表示します。

4 画面で表示する

1 画面表示のときに <MULTI DISPLAY> を押す

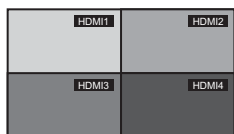
押すごとに、1 画面表示と 4 画面表示が切り換わります。



1 画面表示



4 画面表示



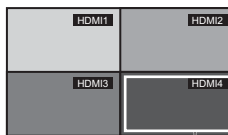
お知らせ

- 4 入力マルチ画面表示の操作はすべてリモコンで行います。本体操作部のボタンでは操作できません。
- 4 画面に表示する入力は「初期設定」-「4 入力マルチ画面設定」で設定します。(P.39 ページ)
- 1 端子または 2 端子入力の 4K 映像や SLOT 入力は 4 画面表示できません。4K 映像機器を HDMI 1 または HDMI 2 端子に接続する場合は、4K 以外の信号を出力する設定に変更してください。詳しくはお使いの映像機器の取扱説明書をご覧ください。
- 4 画面表示では「音声の調整」-「4 入力マルチ画面時音声出力」で設定した音声が出力されます。(P.33 ページ)
- HDMI 1 ~ 4 の 4 入力で 4K 映像を表示する場合は各入力の映像調整値が反映されるため 4 入力の映像調整値を合わせてください。ただし、画面の境界に筋が見えることがあります。(P.34 ページ)

4 画面から 1 画面にする

4 画面表示中に、画面を選んで 1 画面表示にします。

1 ▲▼◀▶ で画面を選択する



フレーム枠

カーソルボタンを押すとフレーム枠が表示されます。1 画面に表示したい画面へフレーム枠を移動してください。

- 5 秒以上何も操作しないとフレーム枠は消えます。
- 次のボタンを押してもフレーム枠が表示されません。その後、カーソルボタンで移動してください。<ENTER>、<INPUT>

2 <ENTER> を押す



- 選んだ画面の 1 画面表示になります。
- フレーム枠を表示している間に <RETURN> を押すと 4 画面に戻ります。
- フレーム枠が消えた後、<RETURN> ボタンは働きません。再度 4 画面を表示するには、<MULTI DISPLAY> を押して下さい。

4画面の入力を切り換える

1 ▲▼◀▶ で画面を選択する



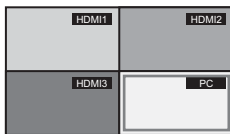
フレーム枠

カーソルボタンを押すとフレーム枠が表示されます。入力を切り換えたい画面へフレーム枠を移動してください。

- 5秒以上何も操作しないとフレーム枠は消えます。
- 次のボタンを押してもフレーム枠が表示されません。その後、カーソルボタンで移動してください。<ENTER>、<INPUT>

2 <INPUT> を押して入力を切り換える

入力信号の切り換え (☞ 25 ページ)

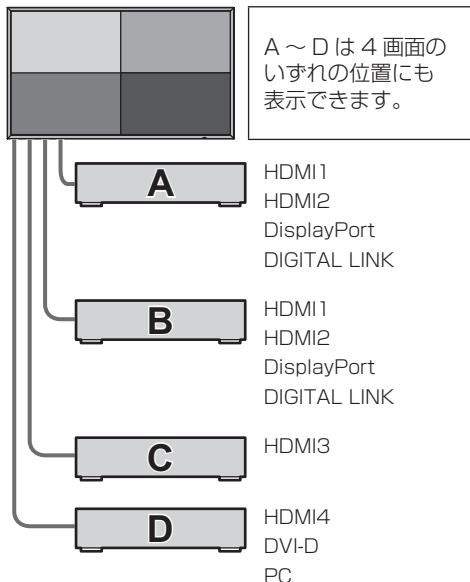


お知らせ

- 右記の4画面の入力組み合わせにより、切り換えができない入力はグレー表示になります。

4画面の入力組み合わせ

次の4グループ(A～D)からそれぞれ1入力を選択できます。



お知らせ

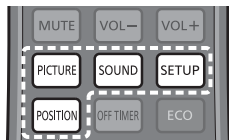
- 「4画面すべてHDMI1」のように、1入力を4画面に重複して表示できます。
- 1入力を2～4画面に表示した場合に見え方が多少異なる場合がありますが、故障ではありません。
- 表示可能な入力組み合わせの詳細については、下記WEBサイトの資料をご覧ください。

<http://panasonic.biz/prodisplays/download/manual/index.html>

オンスクリーンメニューについて

1 メニュー画面を表示する

リモコンで操作する



押して選ぶ

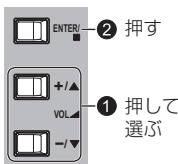
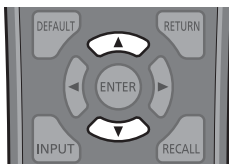
本体のボタンで操作する



数回押す

押すたびにメニュー画面が切り換わります。
通常画面 → 画質の調整
→ 初期設定 → 位置調整
→ 音声の調整

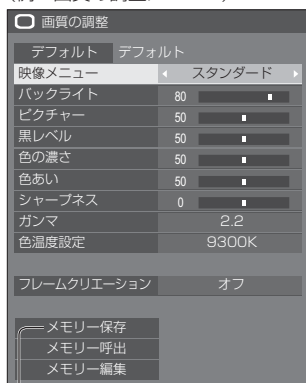
2 設定項目を選択する



② 押す

① 押して選ぶ

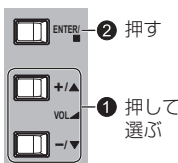
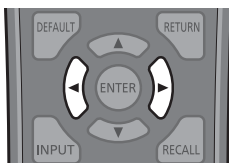
(例：画質の調整メニュー)



サブメニューの表示

<ENTER> を押してサブメニューを表示します。

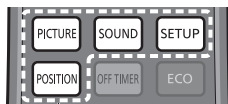
3 設定する



② 押す

① 押して選ぶ

4 設定を終了する



押す



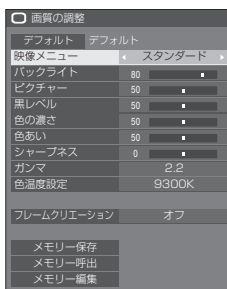
MENU 数回押す

<RETURN> を押すと 1 つ前の画面に戻ります。

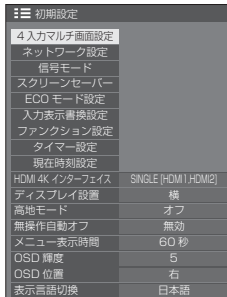
メニュー画面一覧

- 調整できない項目は、グレー表示になります。信号、入力、メニューの設定により調整できる項目は変わります。

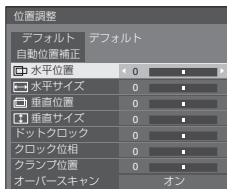
画質の調整 (P. 34 ~ 35 ページ)



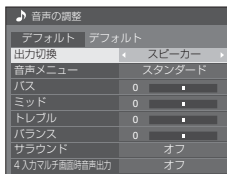
初期設定 (P. 39 ~ 51 ページ)



位置調整 (P. 31 ~ 32 ページ)

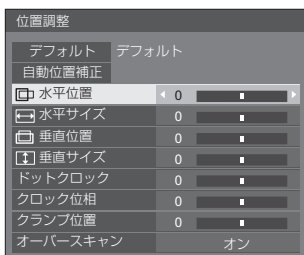


音声の調整 (P. 33 ページ)



位置調整

1 <POSITION> を押して「位置調整」メニュー画面を表示する



2 ▲▼ で設定項目を選択する

- 調整できない項目は、グレー表示になります。信号、入力や、画面設定状態によって調整できる項目は変わります。

3 ◀▶ で設定をする

4 <POSITION> を押して設定を終了する

■ 1つ前の画面に戻るには

<RETURN> を押す。

■ デフォルトの設定値に戻すには

メニュー表示中に <DEFAULT> を押す、または「デフォルト」を選んでいるときに <ENTER> を押すと表示されているメニューの調整値が標準値に戻ります。

お知らせ

- 4入力マルチ画面表示で「位置調整」はできません。
- 4K映像時に「位置調整」はできません。4Kフォーマット信号は画面いっぱいにジャスト表示されます。
- 4096 × 2160 信号 (2048 × 1080 信号) は、パネル画素数に合わせて画像の左右をサイドカット表示されます。
- 「位置調整」の各調整は入力端子ごとに記憶します。

縦置き設置時の「位置調整」について

ディスプレイを縦置きにしても位置／サイズの調整方向は横置きと変わりません。
ご注意の上調整してください。

自動位置補正

パソコン信号入力時などに「水平位置／垂直位置」、「水平サイズ／垂直サイズ」、「ドットクロック」、「クロック位相」を自動補正します。

本設定は以下の条件で動作します。

- アナログ信号 (PC) 入力時：
パソコンフォーマットの信号で、「信号モード」メニューの「コンポーネント入力切換」(☞ 40 ページ) が「RGB」のときに本設定が有効になります。
- デジタル信号 (HDMI/DVI-D/DisplayPort) 入力時：
パソコンフォーマットの信号のときに本設定が有効になります。
パソコンフォーマットの信号でない場合または、「オーバースキャン」(☞ 32 ページ) が「オフ」のときに本設定が有効になります。「水平サイズ／垂直サイズ」は自動補正しません。

対応する信号の映像を表示中に

「自動位置補正」を選び、<ENTER> を押す

リモコンで操作する

<AUTO SETUP> を押す

自動位置補正が無効の場合は「無効操作」と表示します。

Auto モード

[Options] メニューの「Auto setup」を「Auto」に設定すると、次の場合に自動位置補正が動作します。(☞ 58 ページ)

- ディスプレイの電源を「入」にしたとき
- 入力信号が切り換わったとき

お知らせ

- 4K 映像時に「自動位置補正」はできません。
- アナログ信号でドットクロック 162 MHz 以上の信号のときは「ドットクロック」と「クロック位相」の自動補正はされません。
- デジタル信号のときは「ドットクロック」と「クロック位相」の自動補正はされません。
- 画像の端が判らないような画像や暗い画像を入力して自動位置補正をすると調整できないことがあります。このような場合は明るく境界線などが明確な画像に切り換えてから再度、自動位置補正をください。
- 信号によっては自動位置補正後にもズレが生じる場合がありますので、必要に応じて位置／サイズなどの微調整を行ってください。
- 垂直周波数 60Hz XGA 信号 (1024 × 768@60Hz、1280 × 768@60Hz、1366 × 768@60Hz) で自動位置補正が最適にならない場合、あらかじめ「XGA モード」(☞ 40 ページ) で個別信号を選択設定しておく、適切に自動位置補正できる場合があります。

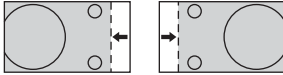
- 有効映像期間外に付加情報などの信号が重畳されている場合や同期信号と映像信号の時間間隔が短い場合、あるいは、3値同期信号が付加された映像信号などには自動位置補正はうまく動作しません。

お願い

- 自動位置補正で適切な調整にならない場合は、一度「デフォルト」を選び、<ENTER> を押した後、手動で位置／サイズなどの調整を行ってください。

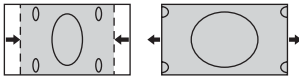
水平位置

◀▶ で画面を左右に移動します。



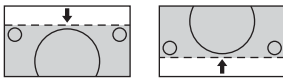
水平サイズ

◀▶ で画面を左右に拡大／縮小します。



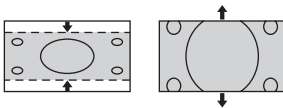
垂直位置

◀▶ で画面を上下に移動します。



垂直サイズ

◀▶ で画面を上下に拡大／縮小します。



ドットクロック (PC 入力時)

縞模様を表示した場合に、周期的な縞模様（ノイズ）が発生したときは、ノイズが少なくなるように調整してください。

クロック位相 (PC 入力時)

RGB 信号やパソコン信号を入力した場合に画面の輪郭に、にじみやぼけが発生することがあります。もっとも見やすくなるよう調整してください。

クランプ位置 (PC 入力時)

映像の黒部分がつぶれている場合や、緑色になっている場合にクランプ位置を調整します。

クランプ位置調整の最適値

黒部分がつぶれている場合→黒部分のつぶれがもっとも改善する値が最適値です。

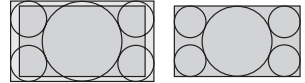
黒部分が緑色になっている場合→緑色部分が黒くなりつぶれていない値が最適値です。

オーバースキャン

画像のオーバースキャンをオン／オフします。

設定が可能な信号は以下の通りです。

525i、525p、625i、625p、750/60p、750/50p（コンポーネント（色差）ビデオ、RGB、DVI-D、SDI、HDMI）、1125（1080）/60i・50i・60p・50p・24p・25p・30p



「オン」

「オフ」

お知らせ

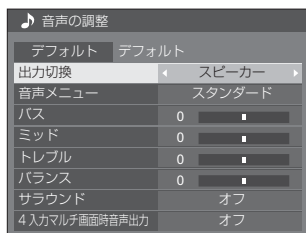
- 4K 映像時、本メニューは調整できません。
- 「オフ」に設定した場合は、水平サイズと垂直サイズは調整できません。

お知らせ

- 調整のときに画像表示エリア外にノイズが出る場合がありますが、異常ではありません。

音声の調整

1 <SOUND> を押して 「音声の調整」メニュー画面を表示する



2 ▲▼ で設定項目を選択する

- 調整できない項目は、グレー表示になります。信号、入力や、画面設定状態によって調整できる項目は変わります。

3 ◀▶ で設定をする

4 <SOUND> を押して 設定を終了する

■ 1つ前の画面に戻るには

<RETURN> を押す。

■ デフォルトの設定値に戻すには

メニュー表示中に <DEFAULT> を押す、または「デフォルト」を選んでいるときに <ENTER> を押すと表示されているメニューの調整値が標準値に戻ります。

出力切換

音声出力を選びます。

スピーカー： 内蔵スピーカー
外部出力： AUDIO OUT 端子
出力

- 「外部出力」を選択した場合は「バランス」のみ設定できません。他のメニューはグレー表示になり、設定できません。
- 音量と「バランス」は、出力選択ごとに記憶します。

音声メニュー

最適な音質を選びます。

スタンダード： 送られてくるそのままの音で聞きます。

ダイナミック： メリハリ感を強調した音で聞きます。

クリア： 人の声を聞きやすくした音で聞きます。

バス

低音を調節します。

ミッド

中音域を調節します。

トレブル

高音を調節します。

バランス

左右の音量を調節します。

サラウンド

オフ： 通常の音声。
オン： 臨場感のある音声。

4入力マルチ画面時 音声出力

4入力マルチ画面表示のときの音声を設定します。

右上～左下： 設定した画面の入力音声
が出力されます。

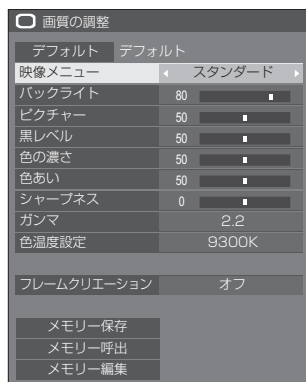
オフ： 4入力マルチ画面表示時に
音声は出力されません。

お知らせ

- バス、ミッド、トレブル、サラウンドは「音声メニュー」の「スタンダード」、「ダイナミック」、「クリア」と共に記憶します。

画質の調整

1 <PICTURE> を押して 「画質の調整」メニュー画面を表示する



2 ▲▼ で設定項目を選択する

- 調整できない項目は、グレー表示になります。信号、入力や、画面設定状態によって調整できる項目は変わります。

3 ◀▶ で設定をする

4 <PICTURE> を押して 設定を終了する

■ 1 つ前の画面に戻るには

<RETURN> を押す。

■ デフォルトの設定値に戻すには ('フレームクリエーション' を除く)

メニュー表示中に <DEFAULT> を押す。

または「デフォルト」を選んでいときに <ENTER> を押すと表示されているメニューの調整値が標準値に戻ります。

映像メニュー 映像ソースや本機を使用する場所の環境に適した見やすい映像に切り換えます。

スタンダード：標準的な明るさで使用する場合に適した画像になります。

ダイナミック：明るい場所で使用する場合に適した画像になります。

シネマ：明るさを抑え、階調性を重視した画像になります。

- 設定は入力端子ごとに記憶します。また、「バックライト」から「色温度設定」の各項目は「映像メニュー」ごとに設定してください。

バックライト バックライトの明るさを調整します。

暗く ↔ 明るく

- 「ECO モード」が「カスタム」で、「消費電力低減設定」が「オフ」のときに調整できます。(P.43 ページ)

ピクチャー 映像の明暗度を調整します。

暗く ↔ 明るく

黒レベル 画面の暗い部分（黒色）を調整します。

暗く ↔ 明るく

色の濃さ 淡く ↔ 濃く

色あい 肌色部分の色あいを調整します。赤紫色がかった色に ↔ 緑色がかった色に

シャープネス 映像輪郭の鮮明度を調整します。ソフト ↔ シャープ

ガンマ 明るさ感を調整します。

2.0 ~ 2.6：傾き小 ~ 傾き大

色温度設定

画面の色調を調整します。
3000K ~ 11500K、USER1、
USER2、USER3

お知らせ

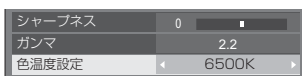
- 色温度の数値が小さいと赤色が強調され、大きいと青色が強調されます。

USER1 ~ USER3 は、次のユーザー設定をすると選択できます。

色温度のユーザー設定

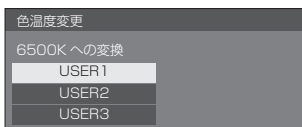
3種類の色温度詳細設定を保存できます。

- 1 「色温度設定」を設定中に <ENTER> を押す。



例：色温度設定が 6500K のとき、6500K の設定値を、USER1 ~ USER3 のユーザー設定に反映させる事ができます。

- 2 ▲▼ で設定を保存するユーザーを選び <ENTER> を押す。



- 3 ◀▶ で「はい」を選び <ENTER> を押す。



- 4 詳細設定画面で各種設定をする。



R ゲイン	赤色の明るい部分の強弱を微調整します。 0 (色温度高) ~ 255 (色温度低)
G ゲイン	緑色の明るい部分の強弱を微調整します。 0 ~ 255
B ゲイン	青色の明るい部分の強弱を微調整します。 0 (色温度低) ~ 255 (色温度高)
R バイアス	赤色の暗い部分の強弱を微調整します。 - 120 (色温度高) ~ + 120 (色温度低)
G バイアス	緑色の暗い部分の強弱を微調整します。 - 120 ~ + 120
B バイアス	青色の暗い部分の強弱を微調整します。 - 120 (色温度低) ~ + 120 (色温度高)

設定した内容がユーザーに保存されます。

「画質の調整」メニューに戻ると、「色温度設定」には設定したユーザーが選ばれています。



フレームクリエーション

動きの速いシーンをよりきれいに見せる機能です。

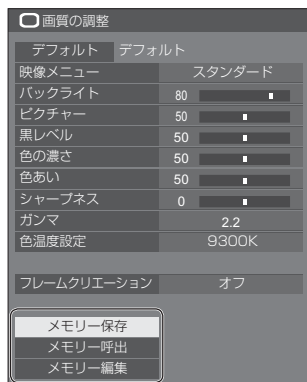
映像が不自然なときは「オフ」を選んでください。

お知らせ

- 設定は、入力端子ごとに記憶しています。4 入力マルチ画面表示時は、4 画面ともにオン/オフを切り替えます。また 1 画面表示時とは別に設定を記憶しています。
- 「デフォルト」を選んでも標準の設定には戻りません。
- 設定を変更した場合に映像とメニューが一瞬消えます。

メモリー機能を使う

8通りの映像調整値（「画質の調整」メニュー）をメモリーに保存し、必要なときに呼び出してお気に入りの映像をお楽しみいただけます。



メモリー保存

(☞ 37 ページ)

メモリー呼出

(☞ 37 ページ)

メモリー編集

(☞ 38 ページ)

1. []	MEMORY1
2. [*]	MEMORY2
3. [*]	MEMORY3
4. []	MEMORY4
5. []	MEMORY5
6. []	MEMORY6
7. []	MEMORY7
8. []	MEMORY8

メモリー機能の概要

オリジナル映像



映像を調整する
(☞ 34 ~ 35 ページ)



カスタム映像



例)
映像調整値を
MEMORY1 に保存する
(メモリー保存)

オリジナル映像



例)
MEMORY1 を呼び出す
(メモリー呼出)



カスタム映像



メモリー編集画面

1. [*]	MEMORY1
2. [*]	MEMORY2
3. [*]	MEMORY3

例)
メモリー名を「MY
PICTURE」に変更する
(メモリー編集)



1. [*]	MY PICTURE
2. [*]	MEMORY2
3. [*]	MEMORY3

お知らせ

- メモリー機能の操作はすべてリモコンで行います。本体操作部のボタンでは操作できません。

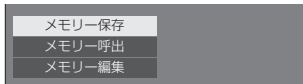
メモリーに保存する

映像調整値をメモリーに保存します。

- 1 「画質の調整」メニューで、
画質を設定する
(☞ 34 ~ 35 ページ)

- 2 「画質の調整」メニューで

▲▼で「メモリー保存」を選んで
<ENTER> を押す



- 3 ▲▼で映像調整値を保存するメモリー名
を選んで<ENTER> を押す



- ・すでに映像調整値が保存されているメモリーには「*」が表示されます。

- 4 ◀▶で「はい」を選んで
<ENTER> を押す



- 5 ▲▼◀▶でメモリー名を入力する

- ・文字の入力方法は「文字入力について」(☞ 68 ページ)をご覧ください。



- 6 メモリー名の入力が終わったら

▲▼◀▶で「確定」を選び
<ENTER> を押す



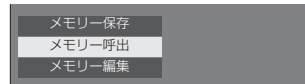
- ・「キャンセル」を選ぶとメモリーの保存をキャンセルします。

メモリーを呼び出す

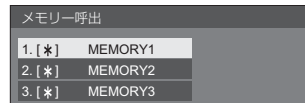
メモリーを呼び出し、ディスプレイに映像調整値を適用します。

- 1 「画質の調整」メニューで

▲▼で「メモリー呼出」を選んで
<ENTER> を押す



- 2 ▲▼で呼び出すメモリーを選んで
<ENTER> を押す



リモコンの数字ボタンでメモリーを呼び出す

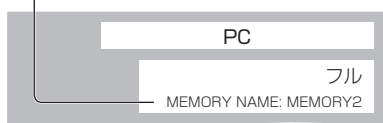
数字ボタン<1>～<8>にはそれぞれMEMORY1～MEMORY8の呼び出し機能が割り当てられています。「ファンクション設定」(☞ 45 ページ)

- 1 <1>～<8>のいずれかを押す

- 2 ◀▶で「はい」を選んで
<ENTER> を押す



メモリーを呼び出しているときはメモリー名を表示します。



お知らせ

- 呼び出したメモリーは選択されている入力端子ごとに記憶されます。

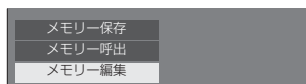
メモリーを編集する

メモリーを削除またはメモリー名を変更します。

■メモリーを削除する

1 「画質の調整」メニューで

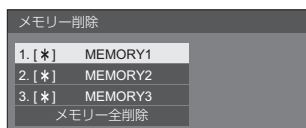
▲▼で「メモリー編集」を選んで
<ENTER> を押す



2 ▲▼で「メモリー削除」を選んで <ENTER> を押す



3 ▲▼で削除するメモリーを選んで <ENTER> を押す



- 全てのメモリーを削除するには「メモリー全削除」を選びます。

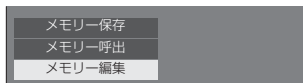
4 ◀▶で「はい」を選んで <ENTER> を押す



■メモリー名を変更する

1 「画質の調整」メニューで

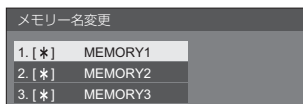
▲▼で「メモリー編集」を選んで
<ENTER> を押す



2 ▲▼で「メモリー名変更」を選んで <ENTER> を押す



3 ▲▼で名前を変更するメモリーを選んで <ENTER> を押す



4 ▲▼◀▶でメモリー名を入力する

- 文字の入力方法は「文字入力について」(P.68 ページ)をご覧ください。



5 メモリー名の入力が終わったら

▲▼◀▶で「確定」を選び
<ENTER> を押す



- 「キャンセル」を選ぶとメモリー名の変更をキャンセルします。

初期設定

1 <SETUP> を押して 「初期設定」メニュー画面を表示する

初期設定	
4 入力マルチ画面設定	
ネットワーク設定	
信号モード	
スクリーンセーバー	
ECO モード設定	
入力表示書換設定	
ファンクション設定	
タイマー設定	
現在時刻設定	
HDMI 4K インターフェイス	SINGLE (HDMI1、HDMI2)
ディスプレイ設置	横
高地モード	オフ
無操作自動オフ	無効
メニュー表示時間	60 秒
OSD 輝度	5
OSD 位置	右
表示言語切換	日本語

2 ▲▼ で設定項目を選択する

- 調整できない項目は、グレー表示になります。信号、入力や、画面設定状態によって調整できる項目は変わります。

3 ◀▶ で設定をする

4 <SETUP> を押して設定を終了する

■ 1 つ前の画面に戻るには

<RETURN> を押す。

4 入力マルチ画面設定

4 入力マルチ表示機能を設定します。

- 4 入力マルチ画面表示 (P.28 ページ)

「4 入力マルチ画面設定」サブメニュー画面

4 入力マルチ画面設定	
4 入力マルチ画面	オン
入力 (左上)	HDMI1
入力 (右上)	HDMI2
入力 (左下)	HDMI3
入力 (右下)	HDMI4

4 入力マルチ画面

「オン」に設定するとディスプレイが 4 画面表示になります。下の入力設定ができます。

入力 (左上) ~ 入力 (右下)

4 画面に表示する入力を設定します。

お知らせ

- 「4 入力マルチ画面設定」で設定したモードは電源を「切」「入」しても保持されます。

ネットワーク設定

コンピューターとネットワーク通信するときに設定します。(P.48 ページ)

PULink・ネットワーク関連の詳細は、59 ページをご覧ください。

信号モード

「信号モード」サブメニュー画面

デジタル信号入力時

信号モード	
信号レンジ	オート
1080i/PsF	オート
ノイズリダクション	オフ
水平周波数	33.7 kHz
垂直周波数	60.0 Hz
ドットクロック周波数	108.0 MHz
信号フォーマット	1125(1080)/60i

コンポーネント (色差) ビデオ信号入力時

信号モード	
コンポーネント入力切換	色差ビデオ
同期	オート
XGA モード	オート
入力レベル	0
1080i/PsF	オート
ノイズリダクション	オフ
水平周波数	33.7 kHz
垂直周波数	60.0 Hz
ドットクロック周波数	~ Hz
信号フォーマット	1125(1080)/60i

RGB / パソコン信号入力時

信号モード	
コンポーネント入力切換	RGB
同期	オート
XGA モード	オート
入力レベル	0
1080i/PsF	オート
ノイズリダクション	オフ
水平周波数	33.7 kHz
垂直周波数	60.0 Hz
ドットクロック周波数	~ Hz
信号フォーマット	1125(1080)/60i

DisplayPort 信号入力時

信号モード	
信号レンジ	オート
ストリーム設定	オート
1080i/PsF	オート
ノイズリダクション	オフ
水平周波数	33.7 kHz
垂直周波数	60.0 Hz
ドットクロック周波数	108.0 MHz
信号フォーマット	1125(1080)/60i

お知らせ

- 入力される信号によっては別売オプション端子ボードが必要になります。
- 「信号モード」設定メニューは入力信号によって異なります。

コンポーネント入力切換

本メニューはパソコン信号入力時に表示されます。
PC IN 端子の入力信号方式に合わせて設定します。

色差ビデオ： Y, P_B, P_R/Y, C_B, C_R 信号

RGB： RGB 信号

YUV/RGB 切換

本メニューは DVI 信号入力時に表示されます。DVI-D IN 端子の入力信号方式に合わせて設定します。

YUV： YUV 信号

RGB： RGB 信号

同期

本機能は PC 入力時に動作します。

RGB / パソコン信号入力時

オート：

HD/VD 入力 / SYNC ON G が自動で切り換わります。

HD/VD 入力 / SYNC ON G 両方に同期がある場合は HD/VD 入力が優先されます。CS 信号を接続する場合は、HD 入力端子に接続してください。

ON G：

HD/VD 入力 / SYNC ON G 両方に同期が入る場合で、SYNC ON G で同期を取りたい場合に選択します。

コンポーネント（色差）ビデオ信号入力時

オート：

HD/VD 入力 / SYNC ON Y が自動で切り換わります。

HD/VD 入力 / SYNC ON Y 両方に同期がある場合は HD/VD 入力が優先されます。CS 信号を接続する場合は、HD 入力端子に接続してください。

ON Y：

HD/VD 入力 / SYNC ON Y 両方に同期が入る場合で、SYNC ON Y で同期を取りたい場合に選択します。

XGA モード


本メニューは、アナログ信号（コンポーネント / PC）入力時に表示されます。

本機は、画角 / サンプリングが異なる 3 種類の垂直周波数 60Hz XGA 信号（1024 × 768@60Hz、1280 × 768@60Hz、1366 × 768@60Hz）に対応しています。

オート：

1024 × 768/1280 × 768/1366 × 768 の中から自動選択します。画角や解像度の表示状態によっては、より適切で見やすい表示になるように、入力信号に合わせて設定を切り換えてください。

お知らせ

- 本設定を行った後は、必要に応じて「位置調整」メニューの各調整（「自動位置補正」など）を行ってください。（ 31 ページ）

信号レンジ

下記の入力信号に応じてダイナミックレンジを切り換えます。

HDMI1 ~ HDMI4、DIGITAL LINK、DisplayPort、SLOT（SDI1 ~ SDI4）

ビデオ（16-235）：

入力信号がビデオレンジの場合。

例：DVD プレーヤーの HDMI 端子出力

フル（0-255）：

入力信号がフルレンジの場合。

例：パソコンの HDMI 端子出力

オート：

入力信号に応じて自動的にダイナミックレンジを「ビデオ（16-235）」または「フル（0-255）」に切り換えます。

- ・ DIGITAL LINK および SLOT（SDI1 ~ SDI4）入力時は「オート」を選択できません。

ストリーム設定

本メニューは DisplayPort 入力時に表示されます。

DisplayPort 端子に接続した機器のストリームの表示方法を設定します。

オート：

入力信号に応じて、自動的に適切なストリームに切り換えます。

シングルストリーム：

シングルストリームで表示します。

入力レベル

本メニューは PC IN 入力時に表示されます。

特に白い部分や非常に明るい部分の映像を入力信号レベルで調整します。

— 32 ~ + 32 :

（レベル低） ~ （レベル高）

1080i/PsF

表示する映像に最適な画像処理方式を設定します。

オート：

入力信号により自動判別します。

i：

IP 変換処理された映像信号を表示します。

PsF：

プログレッシブ変換処理された映像信号を表示します。

ノイズリダクション

映像のノイズ（ざらつき感）を低減します。

オフ：

ノイズリダクションが無効になります。

弱、中、強：

ノイズリダクションの強弱を設定します。

お知らせ

- パソコン信号入力のときは「ノイズリダクション」がグレー表示になり設定できません。

入力信号表示

現在入力している信号の周波数と信号の種類を表示します。

水平周波数	33.7	kHz
垂直周波数	60.0	Hz
ドットクロック周波数	108.0	MHz
信号フォーマット	1125(1080)/60i	

表示範囲：

水平走査周波数 (15 kHz ~ 135 kHz)

垂直走査周波数 (24 Hz ~ 120 Hz)

デジタル信号入力時には、ドットクロック周波数を表示します。

4 入力マルチ画面表示のときは、4 入力それぞれの信号について表示します。

信号モード	
左上	HDMI1
	水平周波数 33.7 kHz
	垂直周波数 60.0 Hz
	ドットクロック周波数 108.0 MHz
	信号フォーマット 1125(1080)/60i
右上	HDMI2
	水平周波数 48.1 kHz
	垂直周波数 59.6 Hz
	ドットクロック周波数 64.6 MHz
	信号フォーマット 1024x768/60Hz
左下	HDMI3
	水平周波数 48.1 kHz
	垂直周波数 59.6 Hz
	ドットクロック周波数 64.6 MHz
	信号フォーマット 1024x768/60Hz
右下	HDMI4
	水平周波数 48.1 kHz
	垂直周波数 59.6 Hz
	ドットクロック周波数 64.6 MHz
	信号フォーマット 1024x768/60Hz

HDMI 1 と HDMI 2 の 2 端子で 4K 入力の場合 (Dual Link) は、それぞれの信号について表示します。

信号モード	
信号レンジ	オート
1080i/PsF	オート
ノイズリダクション	オフ
左	HDMI1
	水平周波数 33.7 kHz
	垂直周波数 60.0 Hz
	ドットクロック周波数 108.0 MHz
	信号フォーマット 1125(1080)/60i
右	HDMI2
	水平周波数 33.7 kHz
	垂直周波数 60.0 Hz
	ドットクロック周波数 108.0 MHz
	信号フォーマット 1125(1080)/60i

スクリーンセーバー

静止画や 4 : 3 表示画像を長時間映す場合に残像 (焼き付き現象) の発生を軽減します。

「スクリーンセーバー」サブメニュー画面

スクリーンセーバー	
	現在時刻 10:00
スタート	
動作選択	オフ
サイドパネル設定	オフ

■スクリーンセーバーの設定

スクリーンセーバーの動作

スクリーンセーバー動作中は、次の 5 パターンを全画面に 5 秒毎に順次表示し、それを繰り返します。

黒→濃い灰色→灰色→薄い灰色→白→薄い灰色→灰色→濃い灰色

お知らせ

- スクリーンセーバー実行中は画面の輝度が落ちますが、故障ではありません。

今すぐスクリーンセーバーをスタートする

- ①「動作選択」で「オン」を選ぶ。
- ②「スタート」を選んで <ENTER> を押す。
 - ・スクリーンセーバーが開始します。

スクリーンセーバー	
	現在時刻 10:00
スタート	
動作選択	オン

お知らせ

- スクリーンセーバー動作中に以下のボタンを押すとスクリーンセーバーが解除されます。

リモコン： <RETURN>

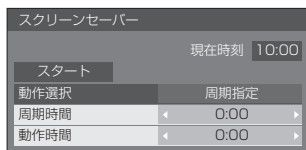
本体： <MENU> <INPUT>

<VOL+> <VOL-> <ENTER>

- ・ディスプレイの電源を「切」にすると、スクリーンセーバーは解除されます。

一定の周期ごとにスクリーンセーバーをオン／オフする

- ①「動作選択」で「周期指定」を選ぶ。
- ②「周期時間」を設定する。
 - ・◀▶ を押すたびに 15 分ずつ変わります。
- ③「動作時間」を設定する。
 - ・◀▶ を一度押すと 1 分ずつ変わります。押し続けると 15 分ずつ変わります。

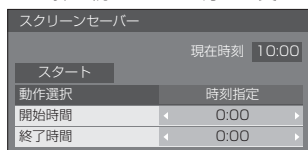


お知らせ

- 「動作時間」は「周期時間」より長い時間には設定できません。

指定した時刻にスクリーンセーバーをオン／オフする

- ①「動作選択」で「時刻指定」を選ぶ。
- ②「開始時間」と「終了時間」を設定する。
 - ・◀▶ を一度押すと 1 分ずつ変わります。押し続けると 15 分ずつ変わります。



お知らせ

- 「現在時刻」を設定してから、「開始時間」と「終了時間」を設定してください。(P.47 ページ)

スクリーンセーバーの後に電源を切る

- ①「動作選択」で「自動電源オフ」を選ぶ。
- ②「動作時間」を設定する。
 - ・◀▶ を一度押すと 1 分ずつ変わります。押し続けると 15 分ずつ変わります。
- ③「スタート」を選んで <ENTER> を押す。
 - ・スクリーンセーバーが開始し、設定時間後に電源が「切」（スタンバイ）になります。

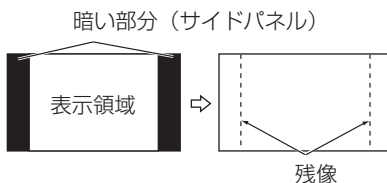


お知らせ

- 「動作時間」は 0:00 ~ 23:59 まで設定できます。「0:00」に設定したとき、「自動電源オフ」は動作しません。

■ サイドパネル設定

画面モードを「ノーマル」(映像の横縦比 4:3) で長時間ご覧になると、映像の表示部と両端の映らない部分とで画面の明るさが異なるため、残像(焼き付き現象)が発生します。サイドパネルを表示することで残像発生を軽減できます。



オフ： 両端を暗くしておく。

低： 暗めの灰色にする。

中： 灰色にする。

高： 明るめの灰色にする。

お知らせ

- 残像発生を軽減のため「高」にしてご覧になることをおすすめします。

ECO モード設定

消費電力を低減するための各種設定を行います。

「ECO モード設定」サブメニュー画面

ECO モード設定	
ECO モード	カスタム
消費電力低減設定	オフ
HDMI1 パワーマネージメント	オフ
HDMI2 パワーマネージメント	オフ
HDMI3 パワーマネージメント	オフ
HDMI4 パワーマネージメント	オフ
PC パワーマネージメント	オフ
DVI-D パワーマネージメント	オフ
無信号自動オフ	無効

リモコンで操作する

<ECO> を押すと「ECO モード」が切り換わります。

ECOモード	オン
--------	----

■ ECO モード：オン

消費電力低減のメニューを次の固定値に設定します。個別に設定はできません。

消費電力低減設定：オン

HDMI1 パワーマネージメント：オン

HDMI2 パワーマネージメント：オン

HDMI3 パワーマネージメント：オン

HDMI4 パワーマネージメント：オン

PC パワーマネージメント：オン

DVI-D パワーマネージメント：オン

無信号自動オフ：有効

■ ECO モード：カスタム

消費電力低減のメニューを個別に設定します。「ECO モード」が「カスタム」のとき、設定が有効になります。

消費電力低減設定

バックライトの明るさを調節して消費電力を低減します。

オフ： 本機能は動作しません。

オン： バックライトの明るさを下げます。

センサー： 視聴環境に応じてバックライトの明るさを自動調節します。

お知らせ

- 「オン」または「センサー」に設定した場合、「画質の調整」- 「バックライト」の設定は無効になります。

HDMI1 パワーマネージメント～ HDMI4 パワーマネージメント

「オン」にすると、次の条件で本機能が動作し、自動的に電源を入 / 切します。

Standard mode

HDMI1 ～ HDMI4 入力時に約 60 秒間、映像（同期信号）が検知されないとき：

電源「切」（スタンバイ） / 電源ランプ：橙色点灯

その後、映像（同期信号）が検知されると：

電源「入」 / 電源ランプ：緑色点灯

Low power mode

HDMI1 ～ HDMI4 入力時に約 60 秒間、HDMI 端子の +5V 電源または映像（同期信号）が検知されないとき：

電源「切」（スタンバイ） / 電源ランプ：橙色点灯

その後、+5V 電源および映像（同期信号）が検知されると：

電源「入」 / 電源ランプ：緑色点灯

- Standard mode の場合は Low power mode の場合よりもスリープ電力が高くなります。Standard mode / Low power mode の切り換えは「Options」メニューの「HDMI power management mode」で設定します。（[P.57](#) ページ）

PC パワーマネージメント（DPMS 機能）

「オン」にすると、次の条件で本機能が動作し、自動的に電源を入 / 切します。

PC 入力時に約 60 秒間、映像（HD/VD 同期信号）が検知されないとき：

電源「切」（スタンバイ） / 電源ランプ：橙色点灯

その後、映像（HD/VD 同期信号）が検知されると：

電源「入」 / 電源ランプ：緑色点灯

お知らせ

- 「信号モード」の「同期」が「オート」、「コンポーネント入力切換」が「RGB」のときのみ動作します。（[P.40](#) ページ）

DVI-D パワーマネージメント

「オン」にすると、次の条件で本機能が動作し、自動的に電源を入/切します。

Standard mode

DVI-D 入力時に約 60 秒間、映像（同期信号）が検知されないとき：

電源「切」（スタンバイ）/ 電源ランプ：橙色点灯

その後、映像（同期信号）が検知されると：

電源「入」/ 電源ランプ：緑色点灯


Low power mode

DVI-D 入力時に約 60 秒間、DVI-D IN 端子の +5V 電源または映像（同期信号）が検知されないとき：

電源「切」（スタンバイ）/ 電源ランプ：橙色点灯

その後、+5V 電源および映像（同期信号）が検知されると：

電源「入」/ 電源ランプ：緑色点灯

- Standard mode の場合は Low power mode の場合よりもスリープ電力が高くなります。Standard mode/Low power mode の切り換えは「Options」メニューの「DVI-D power management mode」で設定します。
( 57 ページ)

無信号自動オフ

「有効」にすると、約 10 分間無操作で入力同期信号が無いと自動的に電源が切れます。

入力表示書換設定

入力端子に接続した機器に合わせて表示名を変更します。

「入力表示書換設定」サブメニュー画面

HDMI1	HDMI1
HDMI2	HDMI2
HDMI3	HDMI3
HDMI4	HDMI4
DisplayPort	DisplayPort
DIGITAL LINK	DIGITAL LINK
DVI-D	DVI-D
PC	PC
SDI1	SDI1
SDI2	SDI2
SDI3	SDI3
SDI4	SDI4

HDMI1 HDMI1 / DVD1 / DVD2 / DVD3 / DVD4 / Blu-ray1 / Blu-ray2 / Blu-ray3 / Blu-ray4 / CATV / VCR / STB / (スキップ)

HDMI2 HDMI2 / DVD1 / DVD2 / DVD3 / DVD4 / Blu-ray1 / Blu-ray2 / Blu-ray3 / Blu-ray4 / CATV / VCR / STB / (スキップ)

HDMI3 HDMI3 / DVD1 / DVD2 / DVD3 / DVD4 / Blu-ray1 / Blu-ray2 / Blu-ray3 / Blu-ray4 / CATV / VCR / STB / (スキップ)

HDMI4 HDMI4 / DVD1 / DVD2 / DVD3 / DVD4 / Blu-ray1 / Blu-ray2 / Blu-ray3 / Blu-ray4 / CATV / VCR / STB / (スキップ)

DisplayPort DisplayPort / DVD1 / DVD2 / DVD3 / DVD4 / Blu-ray1 / Blu-ray2 / Blu-ray3 / Blu-ray4 / CATV / VCR / STB / (スキップ)

DIGITAL LINK DIGITAL LINK / DVD1 / DVD2 / DVD3 / DVD4 / Blu-ray1 / Blu-ray2 / Blu-ray3 / Blu-ray4 / CATV / VCR / STB / (スキップ)

DVI-D DVI-D / DVD1 / DVD2 / DVD3 / DVD4 / Blu-ray1 / Blu-ray2 / Blu-ray3 / Blu-ray4 / CATV / VCR / STB / (スキップ)

PC PC / DVD1 / DVD2 / DVD3 / DVD4 / Blu-ray1 / Blu-ray2 / Blu-ray3 / Blu-ray4 / CATV / VCR / STB / (スキップ)

SDI1 * SDI1 / (スキップ)

SDI2 * SDI2 / (スキップ)

SDI3 * SDI3 / (スキップ)

SDI4 * SDI4 / (スキップ)

* SDI1 ~ SDI4 は 3G-SDI 端子ボード(音声対応)(TY-TBN03G) を装着時に表示されます。

(スキップ) :
<INPUT> を押したときに入力を飛び越して表示します。

ファンクション設定

リモコンの数字ボタン (<0> ~ <9>) の機能を設定します。よく使う操作をボタンに割り当てることで、ショートカットボタンとして使用できます。

1 ◀▶ で「ファンクショングループ」を切り換える

「ファンクション設定」サブメニュー画面



2 ▲▼ で数字ボタンを選び、◀▶ で割り当てる機能を設定する

数字ボタンに割り当てる機能

入力切換 (ダイレクト入力選択)

入力をワンタッチで選択できます。

HDMI1 ~ HDMI4 / DisplayPort / DIGITAL LINK / DVI-D / PC / SDI1 ~ SDI4

- SDI1 ~ SDI4 は 3G-SDI 端子ボード (音声対応) (TY-TBN03G) を装着時に設定できます。

メモリー呼出 (メモリー呼出)

メモリーをワンタッチで呼び出します。

メモリーを呼び出す 37 ページ

MEMORY1 ~ MEMORY8

- <1> ~ <8> にはそれぞれ MEMORY1 ~ MEMORY8 の呼び出し機能が割り当てられています。設定の変更はできません。

ショートカット (アクション・メニュー画面表示)

ECO モード設定、信号モード、タイマー設定、ネットワーク設定、4入力マルチ画面設定

- 数字ボタンを押すとメニュー画面を表示します。もう1度数字ボタンを押すとメニュー画面が消えます。

AV ミュート

- 数字ボタンを押すと音声や映像をミュートします。解除するにはリモコンの何れかのボタンを押します。

工場出荷時の設定

工場出荷時は次のように数字ボタンに機能が設定されています。

	入力切換	メモリー呼出	ショートカット
1	HDMI1	MEMORY1	AV ミュート
2	HDMI2	MEMORY2	ECO モード設定
3	HDMI3	MEMORY3	信号モード
4	HDMI4	MEMORY4	タイマー設定
5	DisplayPort	MEMORY5	ネットワーク設定
6	DIGITAL LINK	MEMORY6	4入力マルチ画面設定
7	DVI-D	MEMORY7	—
8	PC	MEMORY8	—
9	—	—	—
0	—	—	—

■ ファンクションガイド

数字ボタンを押したときの機能表示を設定します。ファンクショングループごとに設定してください。

オン: 数字ボタンの機能一覧を表示します。

オフ: 機能一覧を表示しません。数字ボタンを押すと動作を行います。

お知らせ

- <FUNCTION GROUP> を押したときは、設定のオン/オフにかかわらずファンクションガイドを表示します。

ショートカットボタン（数字ボタン）の使い方

1 <FUNCTION GROUP> または <0> ~ <9> を押す

ファンクションガイドが表示されます。

ファンクションガイド：オフのときは、数字ボタンを押すと機能が働きます。



2 <FUNCTION GROUP> を押して ファンクショングループを切り換える

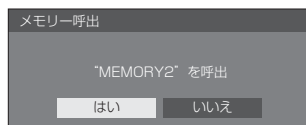
例：メモリー呼出



3 <0> ~ <9> を押す

押したボタンの機能が働きます。

例：<2> を押したとき



タイマー設定

自動的に電源を「入」または「切」にする設定を行います。

「タイマー設定」サブメニュー画面



■ 指定した時刻に電源を「入」または「切」にする

- ①「電源オン時刻」または「電源オフ時刻」を選ぶ。
- ②「電源オン時刻」または「電源オフ時刻」を設定する。
 - ・◀▶ を一度押すと 1 分ずつ変わります。
押し続けると 15 分ずつ変わります。



- ③「電源オン機能設定」または「電源オフ機能設定」を選ぶ。
- ④「オン」に設定する。



お知らせ

- 現在時刻を設定してから、タイマー設定をしてください。(P. 47 ページ)

現在時刻設定

曜日と現在時刻を設定します。(「99:99」と表示されている場合は、未設定となっています。)

「現在時刻設定」サブメニュー画面



■ 曜日と現在時刻を設定する

- ①「曜日」または「現在時刻」を選ぶ。
- ②「曜日」または「現在時刻」を設定する。
 - ・ ◀▶ を一度押すと 1 分ずつ変わります。
押し続けると 15 分ずつ変わります。



- ③「設定」を選んで <ENTER> を押す。



お知らせ

- 現在時刻を設定しないとタイマー設定やスクリーンセーバーなどの時間設定はできません。
- 曜日および現在時刻の設定は、下記の場合にリセットされます。
 - ・ 本体の電源スイッチを「切」にしたり、電源プラグを抜いたり、停電などで約 7 日間以上放置したとき。
- 現在時刻を「99:99」以外に設定しないと、曜日と現在時刻の設定はできません。

HDMI 4K インターフェイス

4K 映像時の HDMI 1 ~ HDMI 4 端子の入力組み合わせを設定します。

SINGLE [HDMI1,HDMI2] :

HDMI 1 または HDMI 2 端子のいずれか 1 端子で 4K 入力

DUAL [HDMI1&HDMI2] :

HDMI 1 と HDMI 2 端子の 2 端子で 4K 入力

お知らせ

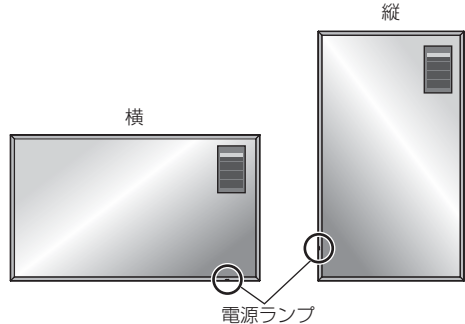
- 4K 映像時の入力組み合わせについては 15 ページをご覧ください。

ディスプレイ設置

縦置き設置時のオンスクリーン表示の表示方向を設定します。

横： 横置き用の冷却用ファン制御になります。

縦： 縦置き用の冷却用ファン制御になります。
オンスクリーン表示が反時計方向に 90 度回転表示し、縦置き設置時に表示が見やすくなります。



お知らせ

- 縦置き設置時は、電源ランプを下側にして設置してください。
- 横置きに設置する場合は必ず「横」に、縦置きに設置する場合は必ず「縦」に設定してください。部品の寿命などに影響を及ぼすおそれや、故障の原因になる場合があります。

高地モード

本機を高地で使用する場合に設定を変更します。

オフ： 海拔 1400m 未満で使用する場合の冷却用ファン制御になります。

オン： 高地（海拔 1400m 以上 2400m 未満）で使用する場合の冷却用ファン制御になります。

お知らせ

- 海拔 1400m 以上 2400m 未満で使用する場合は必ず「オン」に設定してください。部品の寿命などに影響を及ぼすおそれや、故障の原因になる場合があります。

無操作自動オフ

「有効」にすると、本機を約 4 時間以上操作しないとき、自動的に電源が切れます（スタンバイ）。

電源が切れる 3 分前から、切れるまでの残り時間を表示します。

リモコン等の操作で解除できます。

無操作自動オフ 3分

本機能が働いて電源が切れた場合、次回電源を入れたときに「無操作自動オフが働きました。」と表示します。

お知らせ

- スクリーンセーバー動作中に、本機能は動作しません。

メニュー表示時間 / OSD 輝度 / OSD 位置

オンスクリーン表示の表示時間、輝度レベルおよび表示位置を設定します。

メニュー表示時間： 5 秒 ~ 180 秒

OSD 輝度： 1 ~ 5

OSD 位置： 右、左（ディスプレイ設置：横）
上、下（ディスプレイ設置：縦）

表示言語切換

選択された言語で各種メニューや設定、調整画面、操作ボタン名などを表示します。

選択できる言語

English(UK) : 英語 (イギリス)

Deutsch : ドイツ語

Français : フランス語

Italiano : イタリア語

Español : スペイン語

ENGLISH(US) : 英語 (アメリカ)

中文 : 中国語

日本語 : 日本語

Русский : ロシア語

ネットワーク設定

コンピューターとネットワーク通信するときに設定します。

「ネットワーク設定」サブメニューが表示されます。

ネットワーク設定	
LAN 設定	
ディスプレイ名変更	
ネットワークコントロール	オン
AMX D.D.	オフ
DIGITAL LINK	
DIGITAL LINK ステータス	
Digital Interface Box	
DIGITAL LINK モード	オート (LAN)
Extron XTP	オフ

お知らせ

- 「ネットワーク設定」メニューの操作はすべてリモコンで行います。本体操作部のボタンでは操作できません。

LAN 設定

本機の LAN 端子またはツイストペアケーブル伝送器経由で行う LAN の詳細なネットワーク設定ができません。

▲▼ で「LAN 設定」を選び、<ENTER> を押します。

LAN 設定	
保存	
DHCP	オフ
IP アドレス	192.168. 0. 8
サブネットマスク	255.255.255. 0
ゲートウェイ	192.168. 0. 1
ポート 1024	
通信方式	オート
ネットワーク ID	0
MAC アドレス	--:--:--:--:--:--

DHCP / IP アドレス / サブネットマスク / ゲートウェイ

- ① ◀▶ で「DHCP」の「オン」「オフ」を設定する。「オフ」を選ぶと IP アドレスなどを手で設定できます。

DHCP :

(DHCP クライアント機能)

オン : ディスプレイを接続するネットワークに DHCP サーバーが存在する場合、自動的に IP アドレスを取得します。

オフ : ディスプレイを接続するネットワークに DHCP サーバーが存在しない場合、「IP アドレス」「サブネットマスク」「ゲートウェイ」を手動で設定してください。

IP アドレス :

(IP アドレスの表示および設定)

DHCP サーバーを利用しない場合に IP アドレスを入力します。

サブネットマスク :

(サブネットマスクの表示および設定)

DHCP サーバーを利用しない場合にサブネットマスクを入力します。

ゲートウェイ :

(ゲートウェイアドレスの表示および設定)

DHCP サーバーを利用しない場合にゲートウェイアドレスを入力します。

お知らせ

- 「DHCP」を「オン」に設定すると IP アドレスなどは表示されません。

数値の入力方法

- 1) 設定項目を選んで <ENTER> を押す
- 2) ◀▶ で桁を選ぶ。
- 3) リモコンのテンキー (<0> ~ <9>) で数値を変更する。
▲▼ で数値を順番に変更することもできます。
- 4) <ENTER> を押す。
<RETURN> を押すと数値の変更をキャンセルできます。

② 「保存」を選んで <ENTER> を押す

現在のネットワーク設定を保存します。

お知らせ

- DHCP サーバーを利用する場合、DHCP サーバーが立ち上がっていることを確認してください。
- IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイは、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
- 工場出荷時、あらかじめ下記のように設定されています。

DHCP : オフ

IP アドレス : 192.168.0.8

サブネットマスク : 255.255.255.0

ゲートウェイ : 192.168.0.1

ポート

コマンドコントロールで使用するポート番号を設定します。

「ポート」を選んで <ENTER> を押し、数値を設定します。

- 設定できる範囲は 1024 ~ 65535 です。
- 数値の入力方法については「数値の入力方法」(☞ 49 ページ) を参照してください。

お知らせ

- PJLink プロトコルを使用する場合は、ポートの設定は必要ありません。

通信方式

LAN 環境の通信方式を設定します。

オート / 100BASE 半二重 / 100BASE 全二重

ネットワーク ID

本機を識別する ID を設定します。

「ネットワーク ID」を選んで <ENTER> を押し、数値を設定します。

- 設定できる範囲は 0 ~ 99 です。
- 数値の入力方法については「数値の入力方法」(☞ 49 ページ) を参照してください。

■ ディスプレイ名変更

ネットワーク上で使用する本機の名前を変更することができます。

▲▼ で「ディスプレイ名変更」を選び、<ENTER> を押します。



- ディスプレイ名は最大 8 文字まで設定できます。
- 文字の入力方法は「文字入力について」(☞ 68 ページ) を参照してください。

■ ネットワークコントロール

本機の DIGITAL LINK / LAN 端子で制御する場合に設定します。

オン：本機もしくはツイストペアケーブル伝送器の LAN 端子で LAN 制御、あるいはツイストペアケーブル伝送器の SERIAL (RS-232C) 端子で RS-232C 制御します。リモコンで電源を「切」にしたとき（スタンバイ）、電源ランプが橙色点灯します。

オフ：DIGITAL LINK / LAN 端子での制御を無効にします。

（この場合、リモコンで電源を「切」にしたとき（スタンバイ）の消費電力を少し低減します。）

お知らせ

- 「オフ」を選択しても、電源起動中はツイストペアケーブル伝送器経由で行う HDMI 通信が可能です。
- 「オン」を選択した場合の仕様は「DIGITAL LINK モード」(P.51 ページ) の設定を参照してください。
- 「オン」に設定し、「DIGITAL LINK モード」で「DIGITAL LINK(RS-232C)」を選択すると、本体の SERIAL (シリアル) 端子では制御できません。

■ AMX D.D.

AMX デバイスディスカバリーで検知するかを設定します。

オン：AMX デバイスディスカバリーによる検知を有効にします。

オフ：AMX デバイスディスカバリーによる検知を無効にします。

- ・ 詳細は下記の WEB サイトを参照してください。
<http://www.amx.com/>

■ DIGITAL LINK ステータス

DIGITAL LINK の接続環境を表示します。

▲▼ で「DIGITAL LINK ステータス」を選んで <ENTER> を押します。

リンク状態	No link
HDMI ステータス	No HDMI
信号品質	
最小	-XX dB
最大	-YY dB

リンク状態：

「No link」、「DIGITAL LINK」、「イーサネット」のいずれかが表示されます。

No link： LAN 接続無しなど

DIGITAL LINK：DIGITAL LINK 機器と LAN 接続中

イーサネット：本機 DIGITAL LINK 端子にパソコンを接続して LAN 接続中

HDMI ステータス：

「No HDMI」、「HDMI ON」、「HDCP ON」のいずれかが表示されます。

No HDMI：DIGITAL LINK 非接続中

HDMI ON：DIGITAL LINK 接続中

HDCP ON：HDCP 有りの信号が DIGITAL LINK 接続で流れています。

信号品質：

エラー発生量の最小値と最大値を数値化したもので、その数値によって表示色が赤 / 黄 / 緑に変わります。

信号品質	表示色	受信状態
-12dB 以下	緑色	正常に受信しています
-11 ~ -8dB	黄色	受信データの一部分が破損しています
-7dB 以上	赤色	受信異常です

- ・ LAN ケーブルが断線している、ケーブルがシールドされていない場合などは黄色または赤色の数値となります。
- ・ この信号品質は接続されたツイストペアケーブル伝送器とディスプレイとの間のものを表しています。

■ Digital Interface Box

デジタルインターフェースボックスの設定メニューを表示します。

▲▼で「Digital Interface Box」を選んで
<ENTER>を押します。

お知らせ

- この機能は、当社製のデジタルインターフェースボックス (ET-YFB100) が LAN 端子に接続されていて、その電源が入っている時のみ選択することができます。

■ DIGITAL LINK モード

DIGITAL LINK / LAN 端子の設定を切り換えます。

LAN :

本機の LAN 端子経由で行う LAN 通信が可能です。

オート (LAN) :

本機の LAN 端子経由で行う LAN 通信、または、ツイストペア伝送器経由で行う HDMI/LAN 通信が自動で選択されます。

DIGITAL LINK (LAN) :

ツイストペア伝送器経由で行う HDMI/LAN 通信が可能です。

DIGITAL LINK (RS-232C) :

ツイストペア伝送器経由で行う HDMI/RS-232C 通信が可能です。

お知らせ

- 64 ~ 66 ページの方法で制御する場合は、「LAN」あるいは「オート (LAN)」「DIGITAL LINK (LAN)」を選択してください。
- 「LAN」以外に設定した場合は「LAN」に設定した場合に比べて、スタンバイ状態の電力が少し増えます。
- 「DIGITAL LINK (RS-232C)」を選択すると、本体の SERIAL (シリアル) 端子では制御できません。

■ Extron XTP

Extron 社製の「XTP トランスミッター」を DIGITAL LINK 端子に接続するときに「オン」に設定します。

- Extron についての情報は、下記の WEB サイトを参照してください。
<http://www.extron.co.jp/>

オプション (Options) メニュー

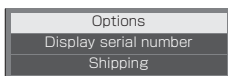
本機は設置場所や用途に合わせて使用される場合に便利な特殊機能を備えています。

1 <SETUP> を押す

「初期設定」メニュー画面が表示されます。

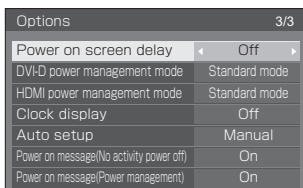
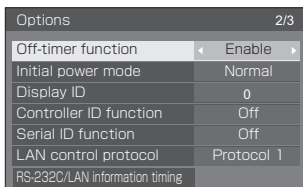
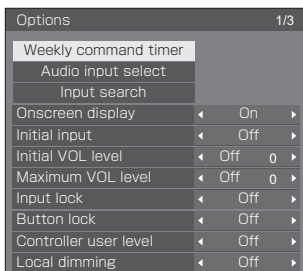
2 ▲▼ で「表示言語切替」を選び、<ENTER> を 3 秒以上押す

以下のような画面が表示されます。



3 ▲▼ で「Options」を選び、<ENTER> を押す

Options 画面が表示されます。



4 ▲▼ で設定項目を選ぶ

「Weekly command timer」、 「Audio input select」、 「Input search」、 「RS-232C/LAN information timing」 については <ENTER> を押すと、サブメニュー画面が表示されます。
([p.53](#)・[p.54](#)・[p.57](#) ページ)

5 ◀▶ で設定値を選ぶ

6 <SETUP> を押して設定を終了する

お知らせ

- 「Options」メニューの操作はすべてリモコンで行います。本体操作部のボタンでは操作できません。
- <RETURN> を押すと 1 つ前の画面に戻ります。
- 「Options」メニューの言語は英語表示のみです。
- 手順 3 で「Display serial number」を選択すると、本機のシリアル番号が表示されます。

Weekly command timer (ウィークリーコマンドタイマー)

曜日ごとにプログラム設定(時刻、コマンド)されたタイマー制御ができます。

- 曜日と現在時刻を設定してから、ウィークリーコマンドタイマーを設定してください。(☞ 47 ページ)

1 ▲▼で「Function」を選び、 ◀▶で「On」を選ぶ

Weekly command timer	
Function	On ▶
MONDAY	Program 1 ▶
TUESDAY	Program 3 ▶
WEDNESDAY	---
THURSDAY	Program 3 ▶
FRIDAY	---
SATURDAY	Program 6 ▶
SUNDAY	Program 4 ▶
ProgramEdit	

2 ▲▼で曜日を選び、 ◀▶でプログラム番号を選ぶ

プログラム番号は Program 1 ~ 7 まで設定できます。「---」は未設定であることを示します。

お知らせ

- 「Function」を「On」に設定すると、タイマー設定(☞ 46 ページ)およびスクリーンセーバー(☞ 41 ページ)の「周期指定」「時刻指定」は無効になります。

3 ▲▼で「ProgramEdit」を選び、 <ENTER>を押す

以下のような画面が表示されます。

Weekly command timer		
Program ◀ 1 ▶		
01	8:00	PON
02	10:30	IMS:SL1
03	---	---
04	---	---
05	---	---
06	12:00	POF
07	9:12	AVL:10
08	---	---

- 1 プログラム番号(1~7)
- 2 現在選んでいるプログラム番号の設定内容
 - ・「--:--」は時刻、「---」はコマンドが未設定であることを示します。
- 3 コマンド番号(1~64)

この画面では、プログラム番号ごとの設定内容を表示します。1 プログラムで 64 コマンド番号までの設定ができます。

4 ▲▼で「Program」を選び、◀▶で プログラム番号(1~7)を切り換える

5 ▲▼で設定するコマンド番号を選ぶ

画面に表示されるコマンド番号は 8 コマンドです。
◀▶を押すと、ページを切り換えることができます。

6 <ENTER>を押す

以下のような画面が表示されます。

Weekly command timer		
Program		1
Command No	◀ 02 ▶	
Time	◀ 12:34 ▶	
Command	◀ IMS:SL1 ▶	

7 ▲▼で「Time」または「Command」 を選び、◀▶で設定する

Time (タイマー時刻)

◀▶を1度押すと1分ごとに変化します。押し続けると15分ごとに変化します。

Command (コマンド)

本機には、あらかじめ設定された 64 種類の内蔵コマンドがあります(☞ 69 ページ)。「Time」で設定した時刻に実行するコマンドを選んでください。

他のコマンド番号を設定するには

▲▼で「Command No」を選び、◀▶でコマンド番号を選ぶと、前の画面に戻らずに直接他のコマンド番号を設定できます。

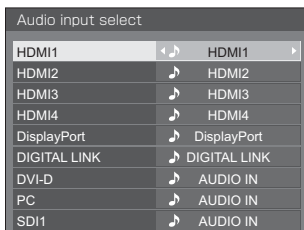
お知らせ

- <RETURN>を押すと、1つ前の画面に戻ります。
- コマンド番号に関係なく、設定した時刻順にコマンドを実行します。
- 同じ時刻に複数のコマンドを設定した場合は、コマンド番号順に実行します。
- <DEFAULT>を押すと「Time」は --:--、「Command」は --- になります。

Audio input select (音声入力選択)

映像入力を選んだときの音声を設定します。

- ▲▼ で映像入力を選び、
◀▶ で音声入力を設定する

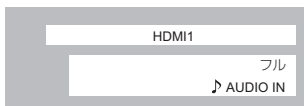


映像入力	音声入力
HDMI1	HDMI1 / AUDIO IN / NO AUDIO
HDMI2	HDMI2 / AUDIO IN / NO AUDIO
HDMI3	HDMI3 / AUDIO IN / NO AUDIO
HDMI4	HDMI4 / AUDIO IN / NO AUDIO
DisplayPort	AUDIO IN / DisplayPort / NO AUDIO
DIGITAL LINK	AUDIO IN / DIGITAL LINK / NO AUDIO
DVI-D / PC	AUDIO IN / NO AUDIO
SDI1 *	SDI1 * / AUDIO IN / NO AUDIO

・ NO AUDIO : 音声入力なし (ミュート)

※ SLOT に端子ボードを装着すると、その端子名が表示され、音声を選択できるようになります

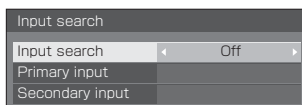
映像入力と音声入力異なる場合は、以下のように音声入力が表示されます。



Input search (無信号時自動入力切換)

無信号になったとき、信号のある他の入力に自動で切り換えます。

- ▲▼ で設定項目を選び、
◀▶ で設定値を選ぶ



Input search

Off : 無信号時、入力の自動切り換えをしません。

All inputs : 全入力をサーチして、信号のある入力に切り換えます。

下記の順で入力をサーチします。

例：現在の入力が PC の場合

PC → SDI1 * → …… →
DVI-D

Priority : 「Primary input」と「Secondary input」を順にサーチして、信号のある入力に切り換えます。



入力サーチ中は「サーチ中」と表示します。

Primary input、Secondary input

「Priority」のときにサーチする入力を設定します。

(NONE) / HDMI1 / HDMI2 / HDMI3 /
HDMI4 / DisplayPort / DIGITAL LINK /
DVI-D / PC / SDI1 *

※ SLOT に端子ボードを装着すると、その端子名が表示されます。

お知らせ

- 「Input lock」が「Off」以外の場合は、グレー表示になり設定できません。(☞ 55 ページ)
- 本機能で入力が切り換わった場合、次回電源「入」時はその入力になります。電源「入」時に元の入力にするには「Initial input」を元の入力に設定してください。
- 4 入力マルチ表示時は設定できません。

Onscreen display (オンスクリーン表示)

電源オン表示、入力切替表示、無信号表示、メニュー画面表示後の消音表示、<RECALL> を押した後の消音とオフタイマー残り時間表示、オフタイマー 3 分前の残時間表示を行わなくすることができます。

On : 表示にします。

Off : 非表示にします。

Initial input (スタート入力設定)

電源「入」時の入力を設定します。

Off / HDMI1 / HDMI2 / HDMI3 / HDMI4 / DisplayPort / DIGITAL LINK / DVI-D / PC / SD11 *

※ SLOT に端子ボードを装着すると、その端子名が表示されます。

お知らせ

- 「Input lock」が「Off」以外の場合は、グレー表示になり設定できません。(☞ 55 ページ)

Initial VOL level (スタート音量設定)

電源「入」時の音量を設定します。

Off : 電源「切」前の状態の音量になります。

On : 設定した音量になります。

- ・メニューの「Initial VOL level」を選択中で「On」の状態のときは、設定されている音量で出力します。

■ 音量の設定

<VOL -> <VOL +> を押して音量を調整します。

お知らせ

- 「Maximum VOL level」が「On」のときは「Maximum VOL level」で設定した音量以上には設定できません。(☞ 55 ページ)

Maximum VOL level (最大音量設定)

音量を設定以上に大きくならないようにします。

Off : 音量を「63」(最大値)まで設定できます。

On : 設定値以上の音量にはなりません。

- ・メニューの「Maximum VOL level」を選択中で「On」の状態のときは、設定されている音量で出力します。

■ 音量の設定

<VOL -> <VOL +> を押して音量を調整します。

お知らせ

- 「Maximum VOL level」を「Off」から「On」にしたとき、「Maximum VOL level」で設定した音量が「Initial VOL level」の設定した音量以下では強制的に「Initial VOL level」で設定した音量は「Maximum VOL level」で設定した音量になります。

Input lock (入力切替固定)

入力を固定して「入力切替」操作をできなくします。

Off / HDMI1 / HDMI2 / HDMI3 / HDMI4 / DisplayPort / DIGITAL LINK / DVI-D / PC / SD11 *

※ SLOT に端子ボードを装着すると、その端子名が表示されます。

お知らせ

- 「Off」以外に設定すると、すぐに入力切替操作ができなくなります。

Button lock (ボタン操作制限)

本体のボタン操作を制限します。

Off : ボタン操作を制限しません。

MENU&ENTER : <MENU> と <ENTER> 操作はできません。

On : すべてのボタン操作はできません。

■ Button lock の設定

本体のボタンを操作して設定できます。

Off :

- ① <VOL +> を 4 回押す
- ② <INPUT> を 4 回押す
- ③ <VOL -> を 4 回押す
- ④ <ENTER> を押す

MENU&ENTER :

- ① <ENTER> を 4 回押す
- ② <VOL +> を 4 回押す
- ③ <INPUT> を 4 回押す
- ④ <ENTER> を押す

On :

- ① <VOL -> を 4 回押す
- ② <ENTER> を 4 回押す
- ③ <VOL +> を 4 回押す
- ④ <ENTER> を押す

Controller user level (リモコン操作制限)

リモコンのボタン操作を制限します。

Off: ボタン操作を制限しません。

User1: <POWER ON> <STANDBY>
<INPUT> <RECALL> <MUTE>
<VOL -> <VOL +> 以外のボタン操作は
できません。

User2: <POWER ON> <STANDBY> 以外のボ
タン操作はできません。

User3: すべてのボタン操作はできません。

Local dimming (ローカルディミング)

LED バックライト発光量を部分的に制御する
ことによりコントラストを高める機能です。同一画
面内の異なるエリアのコントラスト比を大幅に
高めることができます。

Off: ローカルディミング機能を無効にします。

On: ローカルディミング機能を有効にします。

Off-timer function (オフタイマー機能)

オフタイマー機能を有効 / 無効の設定をします。

Enable: オフタイマー機能を有効にします。

Disable: オフタイマー機能を無効にします。

お知らせ

- オフタイマー設定時は「Disable」にするとオフタイ
マーが解除されます。

Initial power mode (電源復帰モード)

電源プラグの抜き差し時や、停電などで電源が瞬
断した後、再度電源が復帰したときの本体の電源
状態を設定します。

Normal: 電源が切れる前の状態で復帰します。

Standby: 電源「スタンバイ」の状態で復帰します (電
源ランプ: 赤色 / 橙色点灯)。

On: 電源「入」の状態で復帰します (電源ランプ:
緑色点灯)。

お知らせ

- 本機を複数台設置されている場合は、電源が復帰し
たときの負担を軽減するために「Standby」に設定
されることをおすすめします。

Display ID (ID 番号選択)

「Controller ID function」「Serial ID
function」でディスプレイ本体の制御を行うと
きの ID 番号を設定します。

0 ~ 100 (標準値: 0)

Controller ID function (リモコン ID 制御)

ID リモコン機能の有効 / 無効を設定します。

Off: ID リモコン機能を無効にします。(通常のリモ
コンとして操作できます)

On: ID リモコン機能を有効にします。

「On」に切り換えと同時に有効になります。

お知らせ

- ID リモコン機能を使うときは、リモコンの ID 番号と
ディスプレイ本体の ID 番号の設定が必要です。リモ
コンの ID 番号の設定は 67 ページ、ディスプレイ本
体の ID 番号は「Display ID (ID 番号選択)」をご覧
ください。

Serial ID function (シリアル ID 制御)

SERIAL (シリアル) 端子に接続したパソコンか
らの外部制御をディスプレイの ID 番号により制
御する設定をします。

Off: ID による外部制御を無効にします。

On: ID による外部制御を有効にします。

LAN control protocol (LAN 制御プロトコル)

LAN 制御のプロトコルを選択します。

Protocol 1 Panasonic ディスプレイのシーケンス
で制御します。

Protocol 2 Panasonic プロジェクターと互換性の
あるシーケンスで制御します。

お知らせ

- 予兆監視ソフトウェア (P.63 ページ) をご利用に
なる場合は、「Protocol 2」に設定してください。

RS-232C/LAN information timing (情報通知タイミング)

無信号時の警告・エラーや周囲温度の上昇をお知らせする機能を設定します。

RS-232C 制御時：

警告・エラー情報を本機から自動で発信します。

LAN 制御時：

警告・エラー情報を本機から取得できません。

1 ▲▼ で設定項目を選び、 ◀▶ で設定値を選ぶ

RS-232C/LAN information timing	
No signal warning	On
No signal warning timing	5min
No signal error	On
No signal error timing	10min
Temperature warning	On

No signal warning

「On」に設定すると無信号警告を通知します。

No signal warning timing

無信号警告の検出時間を設定します。

(範囲：01～60、間隔：1分)

No signal error

「On」に設定すると無信号エラーを通知します。

No signal error timing

無信号エラーの検出時間を設定します。

(範囲：01～90、間隔：1分)

- 次の5つの機能の何れかが働いて無信号を検出した場合は、「No signal warning」と「No signal error」による警告・エラーは通知されません。

無信号自動オフ、PC パワー管理、DVI-D パワー管理、HDMI1 パワー管理～HDMI4 パワー管理 (43 ページ)

- PC IN 入力時に無信号を検出すると「PC パワー管理」が先に働いてスタンバイになります。

設定例)

No signal warning timing : 5分

No signal error timing : 10分

PC パワー管理 : オン (60 秒)

お知らせ

- 「No signal error timing」は「No signal warning timing」より短く設定できません。

Temperature warning

「On」に設定すると本機の温度警告を通知します。

Power on screen delay (起動遅延制御)

複数台のディスプレイを設置し、同時に電源「入」にしたとき、各ディスプレイの電源が入るタイミングを遅らせて電源負荷を分散します。ディスプレイごとに設定してください。

Off : 電源「入」と同時に電源が入ります。

AUTO: Display ID で設定された番号に合わせて、遅延時間を自動で設定します。

- 1～ 遅延時間 (秒) を設定します。電源を「入」
- 30: にしてから設定した時間だけ遅れてディスプレイの電源が入ります。

お知らせ

- 遅延動作開始から終了までの間は、電源ランプが緑色点滅します。
- 電源プラグの抜き差し時や、停電などで電源が瞬断した後、再度電源が復帰したときにもこの機能は働きます。

DVI-D power management mode (DVI-D パワー管理設定)

「DVI-D パワー管理」の動作モードを設定します。

Standard mode :	同期信号が検知されないときにパワー管理を働かせます。
Low power mode :	DVI-D IN 端子の +5V 電源が検知されないときにもパワー管理を働かせます。消費電力がより低くなります。

HDMI power management mode (HDMI パワー管理設定)

「HDMI パワー管理」の動作モードを設定します。

Standard mode :	同期信号が検知されないときにパワー管理を働かせます。
Low power mode :	HDMI 端子の +5V 電源が検知されないときにもパワー管理を働かせます。消費電力がより低くなります。

Clock display (時計表示設定)

時計表示の表示 / 非表示を設定します

Off: 時計を表示しません。

On: 時計を表示します。

お知らせ

- 時計表示は、<RECALL> を押したとき、ディスプレイの左下に表示されます。
- 現在時刻が未設定の場合、「Clock display」を「On」に設定しても時計は表示されません。(☞ 47 ページ)

Auto setup (自動位置補正)

「位置調整」メニューの自動位置補正の動作モードを設定します。

Manual: リモコンの<AUTO SETUP>を押したときや「位置調整」メニューで自動位置補正を実行したときに動作する。

Auto: リモコン、メニューでの操作以外に、次の場合に自動位置補正が動作します。
ディスプレイの電源を「入」にしたとき
入力信号が切り変わったとき

Power on message (No activity power off) (無操作自動オフ警告メッセージ)

電源「入」時の無操作自動オフ警告メッセージの表示 / 非表示を設定します。

On: 電源「入」時に警告メッセージを表示します。

Off: 電源「入」時に警告メッセージを表示しません。

お知らせ

- 本設定は、「無操作自動オフ」が「有効」の場合に有効になります。(☞ 48 ページ)

Power on message (Power management) (パワーマネージメントお知らせメッセージ)

電源「入」時、パワーマネージメントによって電源オフされた事をお知らせするメッセージの表示 / 非表示を設定します。

On: 電源「入」時にお知らせメッセージを表示します。

Off: 電源「入」時にお知らせメッセージを表示しません。

お知らせ

- 本設定は、「パワーマネージメント」機能が「オン」の場合に有効になります。(☞ 43 ページ)

ボタン操作制限、リモコン操作制限の設定を標準値に戻すには

「Button lock」「Controller user level」「Controller ID function」の設定を行ない、リモコンと本体のボタンで本機の操作ができなくなったときに、設定を「Off」に戻し操作ができるようにします。

1 本体操作部の<VOL ->とリモコンの<RETURN>を同時に5秒以上押す

「Shipping」を表示した後、表示が消えロックが解除されます。

A dark grey rectangular screen with the word "Shipping" centered in white text.

- 「Button lock」「Controller user level」「Controller ID function」の設定が「Off」に戻ります。

ネットワーク機能を使う

本機はネットワーク機能を備えており、ネットワークに接続されたディスプレイをパソコンで制御することができます。

接続に必要なパソコン環境

はじめに、お使いのパソコンにLAN機能が装備されているかどうかご確認ください。
ディスプレイとパソコンを接続する前に、必ず以下の設定をご確認ください。

チェック 1: LAN ケーブルについて

- ・ケーブルが正しく接続されていますか。
- ・LAN ケーブルは、カテゴリ5以上に対応したのものを使用してください。

チェック 2: LAN の設定

LAN 機能が内蔵されているパソコン

- ・LAN が有効になっていますか。

LAN 機能が内蔵されていないパソコン

- ・LAN アダプターが正しく認識されていますか。
- ・LAN アダプターが有効になっていますか。
- ・事前に LAN アダプターのドライバーをインストールしてください。
ドライバーのインストール方法は、LAN アダプターの取扱説明書を参照してください。

■ WEB ブラウザについて

WEB 制御を行うにはWEB ブラウザが必要です。

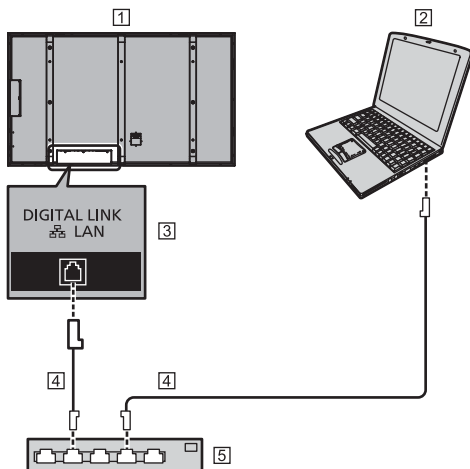
- ・対応 OS : Windows XP/Windows Vista/
Windows 7/Windows 8、
Mac OS X v10.4/v10.5/v10.6、
OS X v10.7/v10.8
- ・対応ブラウザ : Internet Explorer
7.0/8.0/9.0/10.0、
Safari 4.x/5.x/6.x (Mac OS)

ネットワーク接続例

お知らせ

- ネットワーク機能をご利用になる場合は、「ネットワーク設定」の各設定を行い、「ネットワークコントロール」を必ず「オン」に設定してください。(P.50 ページ)
「オン」に設定すると、リモコンで電源を「切」にしたとき（スタンバイ）、電源ランプが橙色点灯します。

■ LAN 端子接続



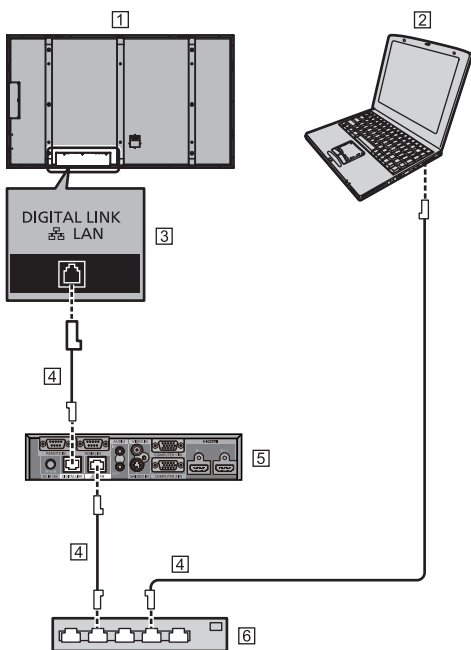
- ① ディスプレイ（本体後面）
- ② パソコン
- ③ LAN 端子
- ④ LAN ケーブル（市販品）
- ⑤ ハブまたはブロードバンドルーター

お知らせ

- ・ LAN ケーブルにはシールドケーブルをご使用ください。シールドケーブルをご使用にならない場合、映像にノイズが発生することがあります。
- ・ ブロードバンドルーターやハブは、100BASE-TXに対応していることをご確認ください。
- ・ 静電気を帯びた手（体）で LAN 端子に触れると静電気の放電により故障の原因になります。LAN 端子および LAN ケーブルの金属部に触れないようにしてください。
- ・ 接続方法についてはネットワーク管理者にご相談ください。

■ DIGITAL LINK 端子接続

当社製デジタルインターフェイスボックス (ET-YFB100) などのツイストペアケーブル伝送器は、入力された映像・音声信号などをツイストペアケーブルを使用して伝送するもので、本機はそのデジタル信号を DIGITAL LINK 端子に入力することができます。



- ① ディスプレイ (本体後面)
- ② パソコン
- ③ LAN 端子
- ④ LAN ケーブル (市販品)
- ⑤ 当社製 ET-YFB100 の場合
- ⑥ ハブまたはブロードバンドルーター

お知らせ

- DIGITAL LINK 接続をご利用になる場合は「ネットワーク設定」の各設定を行ってください。(P.48 ページ)
- 当社製デジタルインターフェイスボックス (ET-YFB100) は 4K 信号入力に対応していません。

ツイストペアケーブル伝送器接続時の使用上のご注意

設置 / 接続について

- DIGITAL LINK 接続用のケーブル配線工事は、専門の技術者または販売店に依頼してください。工事の不備によりケーブル伝送特性が得られず、映像や音声途切れたり乱れたりする原因となります。
- ツイストペアケーブル伝送器と本機間の伝送可能距離は最長 100 m です。これを上回ると映像や音声途切れたり、LAN 通信で誤動作したりすることがあります。
- ツイストペアケーブル伝送器と本機間にハブを使用しないでください。
- 他社製ツイストペアケーブル伝送器 (受信器) を使用して本機に接続を行うとき、他社製ツイストペアケーブル伝送器と本機間に別のツイストペアケーブル伝送器 (送信器) を経由させないでください。映像、音声途切れたり乱れたりする原因となります。
- 外部からのノイズだけでなく、内部からのノイズにも影響を受けやすくなりますので、できるだけケーブルは巻かずに引き伸ばした状態で敷設してください。
- ツイストペアケーブル伝送器と本機間のケーブルは、他のケーブル、特に電源ケーブルからは離して敷設してください。
- 複数のケーブルを敷設するときは、束ねないで走る距離をできるだけ短くしてください。
- ケーブル敷設後に、[DIGITAL LINK ステータス] の信号品質が、-12 dB 以下であることを確認してください。

ツイストペアケーブルについて

- ツイストペアケーブル伝送器と本機間の LAN ケーブルは、次の条件に適合したものをご使用ください。
 - ・ CAT5e 以上の規格に適合
 - ・ ストレート結線
 - ・ シールドタイプ (コネクタを含む)
 - ・ 単線
- ケーブル敷設時にはケーブルテスターやケーブルアナライザーなどを使用して、ケーブルの特性が CAT5e 以上の特性を満たしていることをご確認ください。また、途中に中継コネクタを介している場合は、それも含めて測定してください。
- ケーブルを強い力で引っ張らないでください。また、無理に曲げたり折りたたまないようにしてください。

その他

- 本機は、当社製デジタルインターフェイスボックス (ET-YFB100) に対応しています。他社製ツイストペアケーブル伝送器の対応については、弊社 WEB サイト (http://panasonic.biz/prodisplays/support/digital_link.html) をご覧ください。

コマンドコントロール

本機のネットワーク機能は、ネットワークからシリアル制御と同等に本機を制御することができます。

対応コマンド

シリアル制御で使用しているコマンドに対応しています。(P.19 ページ)

お知らせ

- 詳しい使用方法が必要な場合は、販売店にご相談ください。

PJLink プロトコル

本機のネットワーク機能は PJLink クラス 1 に対応しており、PJLink プロトコルを使用してパソコンから下記のような操作ができます。

- ディスプレイの設定
- ディスプレイの状態問い合わせ

対応コマンド

PJLink プロトコルで本機を制御する際のコマンドは下表の通りです。

コマンド	制御内容
POWR	電源制御 0: スタンバイ 1: 電源「入」
POWR?	電源状態問い合わせ 0: スタンバイ 1: 電源「入」

INPT	<p>入力切換</p> <p>※ 12～15の数字はスロット装着状態により異なります。</p> <p>31: HDMI1 入力 (HDMI1) 32: HDMI2 入力 (HDMI2) 33: HDMI3 入力 (HDMI3) 34: HDMI4 入力 (HDMI4) 35: DisplayPort 入力 (DisplayPort) 36: DIGITAL LINK 入力 (DIGITAL LINK) 37: DVI-D IN 入力 (DVI-D) 11: PC IN 入力 (PC)</p> <p>3G-SDI 端子ボードをスロット 1/2 のいずれかに装着した場合</p> <p>12: SDI1 入力/SDI3 入力 (SDI1/SDI3) 13: SDI2 入力/SDI4 入力 (SDI2/SDI4)</p> <p>3G-SDI 端子ボードをスロット 1/2 の両方に装着した場合</p> <p>12: SDI1 入力 (SDI1) 13: SDI2 入力 (SDI2) 14: SDI3 入力 (SDI3) 15: SDI4 入力 (SDI4)</p>
INPT?	<p>入力切換問い合わせ</p> <p>※ 12～15の数字はスロット装着状態により異なります。</p> <p>31: HDMI1 入力 (HDMI1) 32: HDMI2 入力 (HDMI2) 33: HDMI3 入力 (HDMI3) 34: HDMI4 入力 (HDMI4) 35: DisplayPort 入力 (DisplayPort) 36: DIGITAL LINK 入力 (DIGITAL LINK) 37: DVI-D IN 入力 (DVI-D) 11: PC IN 入力 (PC)</p> <p>3G-SDI 端子ボードをスロット 1/2 のいずれかに装着した場合</p> <p>12: SDI1 入力/SDI3 入力 (SDI1/SDI3) 13: SDI2 入力/SDI4 入力 (SDI2/SDI4)</p> <p>3G-SDI 端子ボードをスロット 1/2 の両方に装着した場合</p> <p>12: SDI1 入力 (SDI1) 13: SDI2 入力 (SDI2) 14: SDI3 入力 (SDI3) 15: SDI4 入力 (SDI4)</p>

AVMT	シャッター制御 10: 映像オン (映像ミュート解除) 11: 映像オフ (映像ミュート) 20: 音声オン (音声ミュート解除) 21: 音声オフ (音声ミュート) 30: シャッターモードオフ (映像ミュート、音声ミュート解除) 31: シャッターモードオン (映像ミュート、音声ミュート)
AVMT?	シャッター制御問い合わせ 11: 映像オフ (映像ミュート) 21: 音声オフ (音声ミュート) 30: シャッターモードオフ (映像ミュート、音声ミュート解除) 31: シャッターモードオン (映像ミュート、音声ミュート)
ERST?	エラー状態問い合わせ 1 バイト目: ファンエラーを意味し、 0 または 2 のいずれか 2 バイト目: 0 3 バイト目: 0 4 バイト目: 0 5 バイト目: 0 6 バイト目: その他のエラーを意味し、 0 または 2 のいずれか ・0、2 の各意味は以下の通り 0 = エラーを検知していない、 2 = エラー
LAMP?	ランプ状態問い合わせ 未対応です。

INST?	入力切換一覧問い合わせ ※ 12 ~ 15 の数字はスロット装着状態により異なります。 31: HDMI1 入力 (HDMI1) 32: HDMI2 入力 (HDMI2) 33: HDMI3 入力 (HDMI3) 34: HDMI4 入力 (HDMI4) 35: DisplayPort 入力 (DisplayPort) 36: DIGITAL LINK 入力 (DIGITAL LINK) 37: DVI-D IN 入力 (DVI-D) 11: PC IN 入力 (PC) 3G-SDI 端子ボードをスロット 1/2 のいずれかに装着した場合 12: SDI1 入力/SDI3 入力 (SDI1/SDI3) 13: SDI2 入力/SDI4 入力 (SDI2/SDI4) 3G-SDI 端子ボードをスロット 1/2 の両方に装着した場合 12: SDI1 入力 (SDI1) 13: SDI2 入力 (SDI2) 14: SDI3 入力 (SDI3) 15: SDI4 入力 (SDI4)
NAME?	ディスプレイ名問い合わせ ネットワーク設定のディスプレイ名選択の内容を応答します。
INF1?	メーカー名問い合わせ "Panasonic" と応答します。
INF2?	機種名問い合わせ "84LQ70J" と応答します。(84V 型の場合)
INFO?	その他情報問い合わせ バージョン番号を応答します。
CLSS?	クラス情報問い合わせ "1" と応答します。

PJLink セキュリティ認証

PJLink で使用するパスワードは WEB 制御で設定したパスワードと同じです。(☞ 65 ページ)

認証なしで使用する場合は、WEB 制御のパスワードをなしに設定してください。

- ・PJLink に関する仕様については (社) ビジネス機械・情報システム産業協会の WEB サイトを参照してください。

URL <http://pjlink.jbma.or.jp/>

予兆監視ソフトウェアについて

本機は、イントラネット内にある機材（プロジェクターやフラットパネルディスプレイ）の状態を監視し、機材の異常の通知や異常発生の予兆を検知するソフトウェア「予兆監視ソフトウェア」に対応しています。

ライセンスの種類によって監視できる機材の登録台数が異なります。コンピューターへのインストール後 90 日間に限り、無料で最大 2048 台の機材を登録してご使用いただけます。

- 詳細は下記の WEB サイトを参照してください。
<http://panasonic.biz/prodisplays/products/swa100/index.html>

LAN で接続する

お知らせ

- ネットワーク機能をご利用になる場合は「ネットワーク設定」の各設定を行い、「ネットワークコントロール」および「DIGITAL LINK モード」で必ず LAN を有効に設定してください。（[☞](#) 51 ページ）

パソコンの操作

- 1 パソコンの電源をオンにする
- 2 ネットワーク管理者の指示に従い、ネットワークの設定を行う

ディスプレイの設定が工場出荷の状態（[☞](#) 49 ページ）であれば、パソコン側は下記ネットワーク設定でお使いいただけます。

IP アドレス	192.168.0.9
サブネットマスク	255.255.255.0
ゲートウェイ	192.168.0.1

WEB ブラウザコントロールを使う

WEB ブラウザを使用して、本機の制御、ネットワーク設定、パスワード設定ができます。

WEB ブラウザコントロールを使う前に

WEB ブラウザコントロールを使うためには、本機の設定とパソコンの設定が必要になります。

■ WEB ブラウザについて

本機の「ネットワーク設定」で各設定を行い、「ネットワークコントロール」を必ず「オン」に設定してください。(P.50 ページ)

■ パソコンの設定

プロキシサーバーの設定を解除し、JavaScript を有効にしてください。

- 設定方法はバージョンにより異なります。各ソフトウェアのヘルプなどの説明を参照してください。

(Windows)

Windows 7 を例に説明しています。

プロキシサーバーの設定を解除する

- 1 [インターネットのプロパティ] ウィンドウを表示する。
[スタート] → [コントロールパネル] → [ネットワークとインターネット] → [インターネットオプション] をクリックする。
 - 表示が異なる場合は、「表示方法 :」を「カテゴリー」に変更してください。
- 2 [接続] タブの [LAN の設定] をクリックする。
- 3 [自動構成スクリプトを使用する] と [LAN にプロキシサーバーを使用する] のチェックを外す。
- 4 [OK] をクリック

JavaScript を有効にする

- 1 [インターネットのプロパティ] ウィンドウを表示する。
[スタート] → [コントロールパネル] → [ネットワークとインターネット接続] → [インターネットオプション] をクリックする。
 - 表示が異なる場合は、「表示方法 :」を「カテゴリー」に変更してください。
- 2 [セキュリティ] タブのセキュリティレベルを [既定のレベル] にする。または [レベルのカスタマイズ] から [アクティブスクリプト] を有効にする。

(Macintosh)

プロキシサーバーの設定を解除する

- 1 [Safari] メニューの [環境設定 ...] をクリックする。
「設定」画面が表示されます。
- 2 [詳細] タブの [プロキシ] の [設定を変更 ...] をクリックする。
「プロキシ」をクリックし、プロキシサーバーを設定してください。
- 3 [web プロキシ] と [自動プロキシ] のチェックを外す。
- 4 [今すぐ適用] をクリックする。

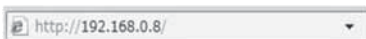
JavaScript を有効にする

- 1 Safari の [セキュリティ] を表示する。
- 2 [web コンテンツ] の [JavaScript を有効にする] にチェックを入れる。

WEB ブラウザからのアクセス

WEB ブラウザを使用して、WEB ブラウザコントロールの TOP 画面にアクセスします。

- 1 WEB ブラウザを起動させる
- 2 本機の「LAN 設定」で設定した IP アドレスを入力する
(☞ 48 ページ)



- 3 認証画面が表示されたら、ユーザー名とパスワードを入力する



- 4 「OK」をクリックする

ログイン後、WEB ブラウザコントロールの TOP 画面が表示されます。(☞ 65 ページ)

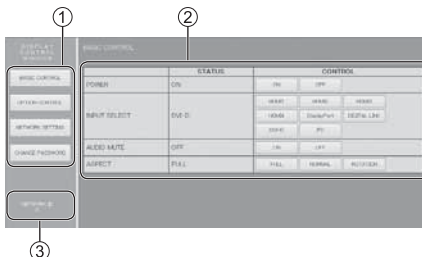
お知らせ

- ここで使用するパスワードは、コマンドコントロール、PJLink セキュリティ認証で使用するパスワードと共通です。
- 出荷時のユーザー名とパスワードは、以下の通りです。
ユーザー名 : user1 (ユーザー情報)
 admin1 (アドミニストレータ権限)
パスワード : panasonic
最初にパスワードの変更を行ってください。
- パスワードはログイン後、パスワード設定画面で変更できます (☞ 66 ページ)。ユーザー名は、変更できません。
- 予兆監視ソフトウェア (☞ 63 ページ) をご利用になる場合は、アドミニストレータ権限でログインしてください。
- パナソニック株式会社およびその関連会社がお客様に対して直接パスワードを照会することはございません。
直接問い合わせがありましても、パスワードを答えないでください。

WEB ブラウザで操作する

■ 各項目の説明

ログイン後、WEB ブラウザコントロールの TOP 画面が表示されます。



- ① メニュー項目が表示されます。ボタンをクリックすると、各項目の設定画面が表示されます。

BASIC CONTROL	BASIC CONTROL 画面が表示されます。(☞ 下記)
OPTION CONTROL	OPTION CONTROL 画面が表示されます。(☞ 66 ページ)
NETWORK SETTING	ネットワーク設定画面が表示されます。(☞ 66 ページ)
CHANGE PASSWORD	パスワード設定画面が表示されます。(☞ 66 ページ)

- ② メニューで選択した項目に従い、設定状態や設定項目が表示されます。
- ③ 本機を識別する ID が表示されます。

BASIC CONTROL 画面

メニューの「BASIC CONTROL」をクリックしてください。本機の状態と、設定変更のためのボタンが表示されます。

	STATUS	CONTROL		
POWER	ON	ON	OFF	
INPUT SELECT	DVI-D	HEMD	HEMD	HEMD
		HEMD	DisplayPort	DIGITAL LINE
		DVI-D	PC	
AUDIO MUTE	OFF	ON	OFF	
ASPECT	FULL	FULL	NORMAL	WIDE

POWER	本機の電源「ON」「OFF」を切り換えます。
INPUT SELECT	入力信号を切り換えます。映像機器の接続状態によって、ボタン表示が変わります。
AUDIO MUTE	音声ミュートの「ON」「OFF」を切り換えます。
ASPECT	画面モードを切り換えます。

OPTION CONTROL 画面

メニューの「OPTION CONTROL」をクリックしてください。本機をコマンド制御するためのコマンド入力欄が表示されます。



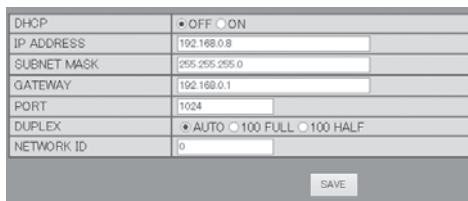
COMMAND	コマンドを入力します。シリアル制御で使用しているコマンドと同じコマンドを使います。(☞ 19 ページ)
RESPONSE	本機からの応答が表示されます。
SEND	コマンドが送信され、実行されます。

お知らせ

- 設定変更後、ディスプレイの応答が表示されるまでに時間がかかる場合があります。

NETWORK SETTING 画面

メニューの「NETWORK SETTING」をクリックしてください。ネットワークの各種設定を行うことができます。設定項目の詳細内容については、本機の「ネットワーク設定」の「LAN 設定」を確認してください。(☞ 48 ページ)



DHCP	DHCP サーバーを利用する場合は「ON」に、利用しない場合は「OFF」にします。
IP ADDRESS	IP アドレスを入力します。
SUBNET MASK	サブネットマスクを入力します。
GATEWAY	ゲートウェイアドレスを入力します。
PORT	コマンドコントロールで使用するポート番号を入力します。設定範囲は 1024 ~ 65535 です。
DUPLEX	LAN 環境の接続速度を設定します。
NETWORK ID	本機を識別する ID を設定します。設定範囲は 0 ~ 99 です。
SAVE	各設定値を保存します。

お知らせ

- DHCP サーバーを利用する場合、DHCP サーバーが立ち上がっていることを確認してください。
- DHCP サーバーを使用しているとき、「IP ADDRESS」、「SUBNET MASK」、「GATEWAY」の値は入力できません。
- 設定値が正しく変更されると「NETWORK SETTING CHANGED.」が表示され、変更された設定項目も表示されます。

CHANGE PASSWORD 画面

メニューの「CHANGE PASSWORD」をクリックしてください。WEB ブラウザコントロールにアクセスするためのパスワード設定を行うことができます。ここでパスワードを変更すると、コマンドコントロール、PJLink セキュリティ認証で使用するパスワードも変更されます。



OLD PASSWORD	変更前のパスワードを入力します。
NEW PASSWORD	変更後のパスワードを入力します。
NEW PASSWORD (RETYPE)	確認のため、「NEW PASSWORD」で入力したパスワードを再度入力します。
SAVE	変更後のパスワードを保存します。確認画面が表示され、「OK」をクリックすると、パスワードが変更されます。

お知らせ

- 出荷時のパスワードは、「panasonic」です。
- パスワードで使用できる文字は半角英数字で、32 文字以内です。
- パスワードが正しく変更されると「Password has changed.」が表示されます。

ID リモコン機能を使う

複数台のディスプレイ本体を近接した場所で使用する場合、リモコンでディスプレイ本体を個別に操作することができます。その場合は事前に「Display ID」で設定したディスプレイ本体の ID 番号を合わせる必要があります。以下の手順でリモコンの ID 番号を設定してください。



リモコンの ID 番号を設定する

1 「Controller ID function」を「On」に設定する

(☞ 56 ページ)

- ・「Options」メニュー表示中は ID が一致しなくても操作できます。

2 リモコンの <ID MODE> スイッチを「ON」にする

3 操作したいディスプレイ本体にリモコンを向けて <ID SET> を押す

ID Set	
Display ID	100
Controller ID	---

4 <0> ~ <9> から選んで押す

(2 桁目の番号を設定)

5 <0> ~ <9> から選んで押す

(1 桁目の番号を設定)

- 手順 3 ~ 5 は 5 秒以内に操作してください。
 - 設定できる ID 番号は 0 ~ 100 までです。
- 例)
- ・ ID を「1」に設定する場合は、手順 3 のあと、続けて <0> <1> を押す。
 - ・ ID を「12」に設定する場合は、手順 3 のあと、続けて <1> <2> を押す。
 - ・ ID を「100」に設定する場合は、手順 3 のあと、続けて <1> <0> <0> を押す。

リモコンの ID 番号の設定を解除する (ID「0」)

「Display ID」で設定した ID 番号と一致しなくても操作できます。

1 <ID SET> を 3 秒以上押す

(<ID SET> <0> <0> を押した時と同じです)

お知らせ

- 「Display ID」が 0 以外の設定で、リモコンの ID 番号が「Display ID」の設定と一致しない場合は、リモコンで操作できません。(☞ 56 ページ)

文字入力について

設定によっては、文字入力が必要となる場合があります。

文字入力は画面に表示されたキーボードから文字を選んで行います。

例) メモリー名の入力 (「メモリー保存」)



キーボードの文字入力ボックスにはすでに「MEMORY1」と表示されていますが、「MY PICTURE」というメモリー名に変更します。

- 1 ▲▼◀▶ で「全削除」を選び、
<ENTER> を押す

MEMORY1

文字が全て削除されます。

文字を1文字削除するには「1文字削除」を選びます。

- 2 ▲▼◀▶ で「M」を選び、
<ENTER> を押す

M

この操作を繰り返し、文字を入力します。

- 3 ▲▼◀▶ で「空白」を選び、
<ENTER> を押す

MY

手順2と同じように「PICTURE」と文字を選んで入力します。

- 4 メモリー名の入力が終わったら
▲▼◀▶ で「確定」を選び、
<ENTER> を押す



- 「キャンセル」を選ぶとメモリーの保存をキャンセルします。

Weekly command timer のコマンド

No.	コマンド	制御内容
1	AAC:4IM0	4 入力マルチ 音声オフ
2	AAC:4IM1	4 入力マルチ 音声左上
3	AAC:4IM2	4 入力マルチ 音声右上
4	AAC:4IM3	4 入力マルチ 音声左下
5	AAC:4IM4	4 入力マルチ 音声右下
6	AMT:0	音声ミュート OFF
7	AMT:1	音声ミュート ON
8	-	-
9	-	-
10	AVL:00	音量 00
11	AVL:10	音量 10
12	AVL:20	音量 20
13	AVL:30	音量 30
14	AVL:40	音量 40
15	AVL:50	音量 50
16	AVL:60	音量 60
17	DAM:FULL	画面モード フル
18	DAM:NORM	画面モード ノーマル
19	DAM:ZOOM	画面モード ズーム
20	IMS:HM1	入力切替 (4 入力マルチ時は左上)HDMI1
21	IMS:HM2	入力切替 (4 入力マルチ時は左上)HDMI2
22	IMS:HM3	入力切替 (4 入力マルチ時は左上)HDMI3
23	IMS:HM4	入力切替 (4 入力マルチ時は左上)HDMI4
24	IMS:DP1	入力切替 (4 入力マルチ時は左上)DisplayPort
25	IMS:DL1	入力切替 (4 入力マルチ時は左上)DIGITAL LINK
26	IMS:DV1	入力切替 (4 入力マルチ時は左上)DVI-D
27	IMS:PC1	入力切替 (4 入力マルチ時は左上)PC
28	IMS:S1A	入力切替 SLOT 1A
29	IMS:S1B	入力切替 SLOT 1B
30	IMS:S2A	入力切替 SLOT 2A
31	IMS:S2B	入力切替 SLOT 2B

No.	コマンド	制御内容
32	SSU:4IM2HM1	4 入力マルチ時入力切替 (右上)HDMI1
33	SSU:4IM2HM2	4 入力マルチ時入力切替 (右上)HDMI2
34	SSU:4IM2HM3	4 入力マルチ時入力切替 (右上)HDMI3
35	SSU:4IM2HM4	4 入力マルチ時入力切替 (右上)HDMI4
36	SSU:4IM2DP1	4 入力マルチ時入力切替 (右上)DisplayPort
37	SSU:4IM2DL1	4 入力マルチ時入力切替 (右上)DIGITAL LINK
38	SSU:4IM2DV1	4 入力マルチ時入力切替 (右上)DVI-D
39	SSU:4IM2PC1	4 入力マルチ時入力切替 (右上)PC
40	SSU:4IM3HM1	4 入力マルチ時入力切替 (左下)HDMI1
41	SSU:4IM3HM2	4 入力マルチ時入力切替 (左下)HDMI2
42	SSU:4IM3HM3	4 入力マルチ時入力切替 (左下)HDMI3
43	SSU:4IM3HM4	4 入力マルチ時入力切替 (左下)HDMI4
44	SSU:4IM3DP1	4 入力マルチ時入力切替 (左下)DisplayPort
45	SSU:4IM3DL1	4 入力マルチ時入力切替 (左下)DIGITAL LINK
46	SSU:4IM3DV1	4 入力マルチ時入力切替 (左下)DVI-D
47	SSU:4IM3PC1	4 入力マルチ時入力切替 (左下)PC
48	SSU:4IM4HM1	4 入力マルチ時入力切替 (右下)HDMI1
49	SSU:4IM4HM2	4 入力マルチ時入力切替 (右下)HDMI2
50	SSU:4IM4HM3	4 入力マルチ時入力切替 (右下)HDMI3
51	SSU:4IM4HM4	4 入力マルチ時入力切替 (右下)HDMI4
52	SSU:4IM4DP1	4 入力マルチ時入力切替 (右下)DisplayPort
53	SSU:4IM4DL1	4 入力マルチ時入力切替 (右下)DIGITAL LINK
54	SSU:4IM4DV1	4 入力マルチ時入力切替 (右下)DVI-D
55	SSU:4IM4PC1	4 入力マルチ時入力切替 (右下)PC
56	-	-

No.	コマンド	制御内容
57	POF	電源「切」
58	PON	電源「入」
59	SSU:4IM0	4 入カマルチ OFF
60	SSU:4IM1	4 入カマルチ ON
61	SSC:MOD0	スクリーンセーバー動作選択 OFF
62	SSC:MOD3	スクリーンセーバー動作選択 ON
63	VMT:0*	映像ミュート OFF
64	VMT:1*	映像ミュート ON

*:リモコン操作による電源の入/切では、映像ミュート状態は解除できません。ディスプレイ本体のボタンによる電源の入/切またはコマンド VMT:0 で解除されます。

プリセット信号

本機には下記信号タイミングがプリセットされています。

これらのプリセット信号は、各入力端子の EDID に記述されています。(*6 を除きます)

下記以外の信号についても多くの場合、本機のマルチスキャン機能により受像可能です。(4K 信号を除きます)

✓：プリセット信号

信号名	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	ドットクロック (Hz)	PC IN	HDMI 1 HDMI 2	HDMI 3 HDMI 4 DVI-D IN	DIGITAL LINK	Display Port
525 (480) / 60i	15.73	59.94	13.5	✓				
625 (576) / 50i	15.63	50.00	13.5	✓				
525 (480) / 60i*2	15.75	60.00	27.0		✓	✓	✓	
625 (576) / 50i	15.63	50.00	27.0		✓	✓	✓	
525 (480) / 60p*2	31.50	60.00	27.0	✓	✓	✓	✓	
625 (576) / 50p	31.25	50.00	27.0	✓	✓	✓	✓	
750 (720) / 60p*2	45.00	60.00	74.25	✓	✓	✓	✓	✓
750 (720) / 50p	37.50	50.00	74.25	✓	✓	✓	✓	✓
1 125 (1080) / 60i*1 *2	33.75	60.00	74.25	✓	✓	✓	✓	
1 125 (1080) / 50i*1	28.13	50.00	74.25	✓	✓	✓	✓	
1 125 (1080) / 24p*1 *2	27.00	24.00	74.25	✓	✓	✓	✓	
1 125 (1080) / 25p*1	28.13	25.00	74.25	✓	✓	✓	✓	
1 125 (1080) / 30p*1 *2	33.75	30.00	74.25	✓	✓	✓	✓	
1 125 (1080) / 60p*1 *2	67.50	60.00	148.5	✓	✓	✓	✓	✓
1 125 (1080) / 50p*1	56.25	50.00	148.5	✓	✓	✓	✓	✓
640 × 480	31.47	59.94	25.18	✓	✓	✓	✓	✓
800 × 600	37.88	60.32	40.00	✓	✓	✓	✓	✓
1 024 × 768	48.36	60.00	65.00	✓	✓	✓	✓	✓
1 280 × 768	47.70	60.00	80.14	✓	✓*6	✓	✓	✓
1 366 × 768	48.39	60.04	86.71	✓	✓*6	✓	✓	✓
1 280 × 1 024	63.98	60.02	108.0	✓	✓	✓	✓	✓
1 600 × 900	60.00	60.00	108.0	✓	✓	✓	✓	✓
1 920 × 1 080	67.50	60.00	148.5	✓	✓	✓	✓	✓
1 920 × 1 200	74.04	59.95	154.0	✓	✓	✓	✓	✓
4K 信号								
3 840 / 24p*2	54.00	24.00	297.0		✓		✓	✓
3 840 / 25p	56.25	25.00	297.0		✓		✓	✓
3 840 / 30p*2	67.50	30.00	297.0		✓		✓	✓
4 096 / 24p*2	54.00	24.00	297.0		✓		✓	
3 840 / 50p	112.5	50.00	594.0		✓		✓*4	✓*5
3 840 / 60p*2	135.0	60.00	594.0		✓		✓*4	✓*5
4 096 / 50p	112.5	50.00	594.0		✓		✓*4	
4 096 / 60p*2	135.0	60.00	594.0		✓		✓*4	
4K (Dual Link) 信号								
3 840 / 50p	112.5	50.00	297.0		✓*3			
3 840 / 60p*2	135.0	60.00	297.0		✓*3			
4 096 / 50p	112.5	50.00	297.0		✓*3 *6			
4 096 / 60p*2	135.0	60.00	297.0		✓*3 *6			

*1: SMPTE 274M 準拠

*2: 1/1.001 のフレーム周波数にも対応します。

*3: Dual Link 対応フォーマットです。(P.15 ページ)

*4: YCbCr 4:2:0 フォーマットでの対応です。

*5: MST(Multi Stream Transport) のみの対応です。

*6: EDID には記述されていません。パソコンの解像度選択で、これらの信号を選べない場合があります。

お知らせ

- 上記の入力信号以外は正しく表示されない場合があります。
- 3G-SDI 端子ボード (TY-TBN03G) を装着している場合の信号については、端子ボードに同梱の取扱説明書を参照してください。

工場出荷時の設定に戻すには

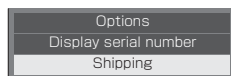
「画質の調整」「音声の調整」「初期設定」「位置調整」「Options」メニューの設定、調整値を以下の操作で工場出荷時の状態に戻します。

■ リモコン操作

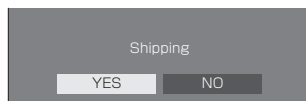
1 <SETUP> を押して
「初期設定」メニューを表示する

2 ▲▼ で「表示言語切換」を選び、
<ENTER> を 3 秒以上押す

以下のような画面が表示されます。



3 ▲▼ で「Shipping」を選び、
<ENTER> を押す



4 ◀▶ で「YES」を選び、<ENTER>
を押す

「Shipping (wait a moment)」というメッセージ
が表示されます。

5 「Please turn off the power」という
メッセージが表示された後、
本体の電源 (⏻/⏿) スイッチを押して
電源を切る

■ 本体操作

1 <MENU> を数回押して
「初期設定」メニューを表示する

2 <VOL -> または <VOL +> で
「表示言語切換」を選び、
<ENTER> を 5 秒以上押す

3 <VOL -> または <VOL +> で「YES」
を選び、<ENTER> を押す

「Shipping (wait a moment)」というメッセージ
が表示されます。

4 「Please turn off the power」という
メッセージが表示された後、
本体の電源 (⏻/⏿) スイッチを押して
電源を切る

修理を依頼される前に・・・ もう一度次の点をお調べください。

こんなとき	ここをお調べください	参照ページ
画面に光らない点がある	● 液晶パネルは非常に精密度の高い技術で作られています。画面の一部に画素欠けや輝点が存在する場合があります。これは故障ではありません。	—
電源が入らない	● コンセントまたは本機から電源プラグやコネクタが外れていませんか。	13
電源が自動的に切れる	● 「無信号自動オフ」、「PC パワーマネージメント」、「DVI-D パワーマネージメント」、「HDMI1 パワーマネージメント」、「HDMI2 パワーマネージメント」、「HDMI3 パワーマネージメント」、「HDMI4 パワーマネージメント」または「無操作自動オフ」が「オン（有効）」に設定されていませんか。	43・48
電源ランプが赤色点滅する	● 故障の可能性があります。お買い上げの販売店にご相談ください。	—
リモコンで操作できない	● 電池が消耗していませんか。電池は正しく入っていますか。	—
	● リモコン受信部に外光や蛍光灯の強い光が当たっていませんか。	—
	● 本機専用のリモコンを使用していますか。（他のリモコンでは動作しません）	—
	● 「Options」メニューの「Controller user level」設定を「Off」以外にしていますか。	56
	● 「Options」メニューの「Controller ID function」設定を「On」にしていますか。	56
	● リモコンの<ID MODE>スイッチを「ON」にしていますか。	67
ID リモコン機能が使用できない	● 「Controller ID function」設定を「On」にしていますか。また、リモコンの<ID MODE>スイッチを「ON」にしていますか。（「Controller ID function」設定を「On」にしている場合は、リモコンの<ID MODE>スイッチを「ON」にして ID 番号を設定する必要があります）	56
映像が出るまでに時間がかかる	● 本機は美しい映像を再現させるため各種信号をデジタル処理しておりますので、電源を入れたとき、入力を切り換えたときに映像が出るまでに少し時間がかかる場合があります。	—
画面にはん点が出る	● 自動車・電車・高圧線・ネオンなどからの妨害電波を受けている可能性があります。	—
色が薄い	● 色の濃さの調整がずれていませんか。（映像の調整値をご確認ください。）	34
色模様が出たり 色が消える	● 他の映像機器から影響（妨害電波）を受けていませんか。 本機の設置場所を変えると良化することもあります。	—
画面の上または下が欠ける	● 映像の画面位置調整をずらしたままになっていませんか。 画面位置の調整をしてください。	31・32
画面の上下に映像の出ない部分ができる	● 16：9 より横長の映像ソフト（シネマサイズのソフトなど）のときは、画面の上下に映像のない部分ができることがあります。	27
映像の輪郭がチラチラする	● パネルの駆動方式による特性上、動きのある映像部分で輪郭がチラチラするように見えることがありますが、故障ではありません。	—
ディスプレイ本体から「ヒュンヒュン」と音がする	● 本機は静音タイプの冷却用ファンを搭載していますが、夜間など静かな環境ではファンの風切り音が聞こえる場合があります。	—
本体のボタンで操作できない	● 「Options」メニューの「Button lock」設定を「Off」以外にしていますか。	55
映像、音声が出ないことがある	● HDMI 信号や DVI 信号をセレクトや分配器を通して本ディスプレイに入力した場合、使用する機器によっては映像と音声の出力が正常に行われない場合があります。 本機の電源を入れ直すまたは、セレクトや分配器の交換を行うと症状が改善する場合があります。	—

こんなとき	ここをお調べください	参 照 ページ
RS-232C 制御ができない	<ul style="list-style-type: none"> ● 接続は正しく行われていますか。 ● 19 ページの RS-232C コマンドをディスプレイの SERIAL (シリアル) 端子から制御するとき、「ネットワーク設定」の「ネットワークコントロール」を「オン」に設定している場合、「DIGITAL LINK モード」は「DIGITAL LINK(RS-232C)」以外の設定になっていますか。 ● 19 ページの RS-232C コマンドを DIGITAL LINK 機器の SERIAL (シリアル) 端子から制御するとき、「ネットワーク設定」の「ネットワークコントロール」を「オン」に、「DIGITAL LINK モード」を「DIGITAL LINK(RS-232C)」に設定していますか。 	<p>18</p> <p>19・50</p> <p>19・50</p>
LAN 制御ができない	<ul style="list-style-type: none"> ● 接続は正しく行われていますか。 ● WEB ブラウザコントロール、コマンドコントロールで制御する場合は、「ネットワークコントロール」が「オン」になっていますか。また、「DIGITAL LINK モード」を「LAN」、「オート (LAN)」あるいは「DIGITAL LINK(LAN)」に設定していますか。 ● AMX 社、Extron 社の機器を接続している場合は、「AMX D.D.」設定、「Extron XTP」設定をお使いに機器に合わせて設定してください。 ● 「DIGITAL LINK ステータス」の「信号品質」情報を参照し、LAN ケーブルが断線している、ケーブルがシールドされていないなど、LAN ケーブルの状態等を確認ください。 	<p>59</p> <p>50</p> <p>50・51</p> <p>50</p>
DIGITAL LINK 端子の映像または音声が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ● 映像 (出力) 機器とツイストペアケーブル伝送器、ツイストペアケーブル伝送器と本機との接続は正しく行われていますか。 ● 「DIGITAL LINK モード」が「LAN」になっていませんか。 	<p>60</p> <p>51</p>

保証とアフターサービス (よくお読みください)

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は、まず、お買い上げの販売店へお申し付けください。

修理を依頼されるとき

73 ページ「修理を依頼される前に…」の表や、組み合わせをされた機器の「取扱説明書」もよくお読みのうえ調べていただき、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

● 保証期間中は

保証書の規定に従って出張修理をさせていただきます。

● 保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により修理させていただきます。

下記修理料金の仕組みをご参照のうえご相談ください。

● 修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料 は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

■ 保証書 (別添付)

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。

よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間

■ 補修用性能部品の保有期間

当社は、この液晶ディスプレイの補修用性能部品を、製造打ち切り後 8 年保有しています。

注) 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ 修理を依頼されるときご連絡いただきたい内容

ご氏名・ご住所・電話番号
製品名・品番・お買い上げ日
故障または異常の内容
訪問ご希望日

■ 使いかた・お手入れ・修理などは、まず、お買い求め先へご相談ください。

■ その他ご不明な点は下記へご相談ください。

パナソニック システムお客様ご相談センター

電話 フリーダイヤル  **0120-878-410** ※携帯電話・PHSからもご利用になります。

受付：9時～17時30分
(土・日・祝祭日は受付のみ)

ホームページからのお問い合わせは <https://sec.panasonic.biz/solution/info/>

ご使用の回線(IP 電話やひかり電話など)によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくための発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

仕様

	品番	TH-84LQ70J (84V型) *1	TH-98LQ70J (98V型) *1
	種類	UHD 液晶ディスプレイ	
	使用電源	AC100 V ± 10 % 50 Hz / 60 Hz	
	消費電力	560 W	650 W
		本体電源「切」時 約 0.3 W リモコンで電源「切」時 約 0.5 W	
	音声実用最大出力	20 W (10 W + 10 W) JEITA	
	スピーカー	フルレンジ : 12 cm × 4 cm 2個	
	液晶ディスプレイパネル	IPS パネル (LED バックライト)	
		84V 型*1 (アスペクト比 16 : 9)	98V 型*1 (アスペクト比 16 : 9)
	画面寸法	幅 186.0 cm 高さ 104.7 cm 対角 213.5 cm	幅 215.9 cm 高さ 121.4 cm 対角 247.7 cm
	画素数	8 294 400 画素 (水平 3 840 × 垂直 2 160)	
	動作使用条件	温度 : 0 °C ~ 40 °C*2 湿度 : 20 % ~ 80 % (結露のないこと)	
	保管条件	温度 : -20 °C ~ 60 °C 湿度 : 20 % ~ 80 % (結露のないこと)	
	HDMI 入力端子	TYPE A コネクター*3 × 4 (HDMI 1、HDMI 2 は 4K 対応、HDMI 3 は DEEP COLOR 対応) 音声信号 リニア PCM (サンプリング周波数 : 48 kHz/44.1 kHz/32 kHz)	
	HDMI 1 · HDMI 2 · HDMI 3 · HDMI 4		
	デジタル RGB 入力端子	DVI-D IN	
	DVI-D IN	DVI-D 24 ピン DVI Revision 1.0 準拠 HDCP 1.1 対応	
本 体	パソコン入力端子	ミニ D-sub 15 ピン (DDC2B 対応)	
		Y/G	1.0 V [p-p] (75 Ω) 同期信号を含む
			0.7 V [p-p] (75 Ω) 同期信号を含まない
		P _B /C _B /B	0.7 V [p-p] (75 Ω)
		P _R /C _R /R	0.7 V [p-p] (75 Ω)
	HD/VD	1.0 ~ 5.0 V [p-p] (ハイインピーダンス)	
	音声入力端子	ステレオミニジャック (M3) 0.5 V [rms]	
	AUDIO IN		
	DisplayPort 入力端子	DisplayPort 端子 × 1	
	DisplayPort	音声信号 リニア PCM (サンプリング周波数 : 48 kHz/44.1 kHz/32 kHz)	
	シリアル端子	外部制御用端子	
	SERIAL	D-sub 9 ピン RS-232C 準拠	
	DIGITAL LINK 端子	RJ45 ネットワーク接続用、DIGITAL LINK 接続用、PLink 対応	
	DIGITAL LINK, LAN	通信方式 : RJ45 100BASE-TX	
	音声出力端子	ステレオミニジャック (M3) 0.5 V [rms]	
	AUDIO OUT	出力 : 可変 (-∞ ~ 0 dB) (1 kHz 0 dB 入力、10 k Ω 負荷時)	
	外形寸法	幅 194.9 cm 高さ 114.1 cm 奥行 9.9 cm	幅 223.3 cm 高さ 128.8 cm 奥行 12.2 cm
		質量	約 108.0 kg
	キャビネット材質	金属 (前面、バックカバー)	
レ モ コ ン	使用電源	DC 3 V (単 4 形マンガンまたはアルカリ乾電池 2 個)	
	操作距離	約 30 m 以内 (受信部正面)	
	質量	102 g (乾電池含む)	
	外形寸法	幅 : 48 mm 高さ : 145 mm 奥行 : 27 mm	

*1 ディスプレイの V 型は、有効画面の対角寸法を基準とした大きさの目安です。

*2 高地 (海拔 1400m 以上 2400m 未満) で使用する場合は使用環境温度は 0°C ~ 35°C になります。

*3 VIERA LINK 非対応

本機を使用できるのは、日本国内のみで外国では電源電圧が異なりますので使用できません。

(This set is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.)

ソフトウェアライセンス

〈当製品に関するソフトウェア情報〉

この製品には、一部Free BSD LICENSEに基づきライセンスされるソフトウェアを搭載しております。上記規定に基づき Free BSD LICENSE 規定を記載します。

(なお、かかる規定は第三者による規定であるため、原文（英文）で記載しております。)

Copyright © 1980, 1986, 1993

The Regents of the University of California. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement:

This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors.

4. Neither the name of the University nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE REGENTS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

商標について

- Microsoft[®]、Windows[®]、Windows Vista[®]、Windows[®] 7、Windows[®] 8、Internet Explorer[®] は、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Macintosh、Mac、Mac OS、OS X、Safari は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- PLink 商標は、日本、米国その他の国や地域における登録又は出願商標です。
- HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、米国および他の国における HDMI Licensing LLC の商標または、登録商標です。
- DisplayPort は Video Electronics Standards Association の米国またはそのほかの国における商標です。
- JavaScript は、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標または商標です。

なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

JIS C 61000-3-2 適合品

本装置は、高周波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しています。

便利メモ おぼえのため記入 されると便利です。	お買い上げ日	年 月 日	品 番	
	販売店名	☎ () -	お客様ご相談窓口	☎ () -

パナソニック株式会社
AVCネットワークス社

〒571-8503 大阪府門真市松葉町2番15号

© Panasonic Corporation 2014

M1014-1104